

NPO 法人 レッドリボンさっぽろ
年次総会資料

日時：2025年5月11日（日）10：00～12：00

場所：札幌市北区北11条西3丁目2-23 ノースタウンハウス218号室
NPO法人レッドリボンさっぽろ 事務所

NPO法人レッドリボンさっぽろ

年次総会 式次第

1. 開会宣言
2. 議長・書記選出
3. 2024年度 事業報告
4. 2024年度 決算報告
5. 各部報告
6. 2024年度 総括案
7. 2025年度 予算案
8. 2025年度 人事案
9. 中期目標・2025年度短期目標の確認

2024年度事業報告書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

特定非営利活動法人 レッドリボンさっぽろ

1 事業の成果

2024年度は新型コロナウイルス(COVID-19)が5類感染症に移行したことにより、対面を中心にさまざまなイベントが再開し参加者の生の感想・意見を目にする貴重な機会となったほか、2023年度も新たなつながりがひろがった1年となりました。

●エイズ電話相談

相談件数は前年の222件から132件増加し、354件となりました。
うち、特定の方からの相談が200件ほどとなったほか、年間で10件程度女性相談員に対するセクハラ電話もあり、実質的な相談件数回復にはまだ時間がかかると思われます。
情報源としては、インターネットで、スマートフォンからの相談が94.6%とはじめて9割を超えました。
2022年に作成したQRコード付きの広報資材をポケットティッシュ3000個に折り込んで配布しました。
2024年度のエイズ電話相談は公益財団法人エイズ予防財団の助成を受けて実施しました。

●電話相談員派遣

札幌市にて実施する電話相談に相談員を派遣しています。

●HIV陽性者交流会inHOKKAIDO

HIV陽性者の相談場所のひとつとして、またコミュニケーションの場として、偶数月第3土曜日に札幌市内の公共施設などをお借りしHIV陽性者交流会inHOKKAIDOを2014年から実施しています。
2024年度は全6回(4/20、6/15、8/17、10/19、12/21、2/15)の開催(すべて札幌開催)を計画しましたが、4月・2月は参加申し込みが非常に少なかったため中止としました。(参加人数6/15:4名、8/17:3名、10/19:4名、12/21:4名 計15名)

●キルト作成

製作した作品は、オークションや個人売買をし、収益をアフリカにてHIV陽性者や遺児支援を行うNPO法人PLAS様に寄付しています。
2024年度は7作品を制作・出品し、5品が落札されたほか、直接依頼を受けた9作品を販売しました。
2024年度も5月と10月に各3万円ずつ、計6万円を寄付。当該寄付金についてはキルト事業の雑費として計上しています。

●ラジオ出演

三角山放送局「にじいろスマイルラジオ」にて6月の検査相談週間にあわせて5/21・5/28放送回に代表の沼田が出演しHIV/エイズのこと、HIV検査についてお伝えしたほか、9/10および9/24放送回において事務局長の秋山が9/29に実施されるLGBTのためのエイズ検査会の広報を行いました。また12月の世界エイズデーに合わせて、代表の沼田と事務局長の秋山がFMドラマシティの『高橋愛紀が贈るSOGI-Mamii's ハピネス♥Umbrella☂』の12/3放送回に出演し、HIV/エイズのこと、PrEPやU=U、検査のことなどをお話しました。

●北海道医療大学祭『九十九祭』ブース出展・ステージ発表

6月15日(土)～6月16日(日)に北海道医療大学 大学祭「九十九祭」に1F 中央講義棟ロビーにてブース出展しクリスのメモリアルキルトの展示の他、検査の重要項目についてのアンケートを実施し、27名の方に回答いただきました。
また6月16日(日)にはステージ発表を行いました。

●道東HIV拠点病院等連絡協議会・研修会の講師派遣

釧路ろうさい病院にて7月6日(土)に道東HIV拠点病院等連絡協議会・研修会が開催され、16:30から 特別講演として「HIV検査相談室「サークルさっぽろ」の活動とHIV検査のこれから」について代表の沼田がお話しました。

●さっぽろレインボープライド ブース出展

9月14日(土)～9月15日(日)実施。歩行者天国となった南1条通の西3丁目にブースを出展しました。
初日9月14日(土)はSapporo5リボンズとして、2日目はレッドリボンさっぽろ単独でブース出展しました。
総動員数は約3万人、パレード参加者は1000名でした。(さっぽろレインボープライド実行委員会発表)

●よりみちUPDATE

一般社団法人にじいろほっかいどう様と共同で実施をしているMSM ALL JAPANの事業として、さっぽろレインボープライド初日の9月14日(土) 札幌市中央区大通西2丁目陶管ビル6F(あいあい会議室 大通2号室6階)にて開催しました。
当日はわたあめ機を持ち込み、にじいろほっかいどう・レッドリボンさっぽろの各種広報資材、検査会のフライヤー、コンドームの展示・配布と九十九祭で実施したHIV検査のアンケートを実施。わたあめをやりながらおしゃべりができるフリースペースとして開放しました。
15時からはHIVの基礎知識、コンドームの付け方、色水ワークを実施。開催時間中のべ34名のご利用を頂きました。

●みんなで考えようLGBTの老後

一般社団法人にじいろほっかいどう様と共同で実施をしているMSM ALL JAPANの事業として、9月16日(月・祝)10:00～12:00 札幌エルプラザ 4F 研修室1にて対面・zoomのハイブリッドにて開催しました。
講師としてNPO法人パープルハンズ事務局長の永易至文さんをお招きしました。会場10名、Zoomに15名ほどご参加いただきました
「支援企業側にもマイノリティはいる。支援者側のケアも必要。」「死や法律の話は、大事と分かっているもとつきにくさを感じる…という本音にもしっかりより沿っていただき、笑いも交えた有益な情報盛りだくさん！素晴らしい企画をありがとうございました！！」といった感想をいただきました。

●札幌市主催「LGBTのためのエイズ検査」企画提案・広報・相談員派遣

札幌市保健所が実施する当検査会は、例年さっぽろレインボープライド関連イベントとして開催しています。
予約枠を昨年の80枠から96枠に増やして9/29に白石保健センターで実施しました。
例年レッドリボンさっぽろでは、検査会の広報と、検査会へ相談員の派遣を実施しており、さっぽろレインボープライドHPへのバナー広告掲載、札幌ハッテン掲示板、9monstersへの広告掲載、HIV検査・相談マップ、はばたき福祉事業団北海道支部HANDへの情報掲載を行っています。加えて検査当日の相談員派遣業務の委託を受けています。
最終受検者数は66名で、うち梅毒検査60人、HIV要確認・梅毒陽性各1人でした。
当日の相談については、受付時に保健所職員の皆様にもご協力をいただき、4件の相談がありました。

- コミュニティセンターZEL主催「HIV陽性者と語ろう」オンラインイベントへの登壇
10月6日(日)10:00～12:00に仙台のHIVコミュニティセンターZEL主催により、HIV陽性者と語ろうが福島県郡山市内で開催され、当会所属のHIV陽性者が現地で登壇しました。スタッフ3名・参加者2名(Zoom1名) テーマは『U=U』 HIVの歴史、私の自己紹介、カミングアウト、U=Uのほか、PrEPについてもお話をしました。
- 第38回日本エイズ学会学術集会・総会へ参加
11月28日(木)～30日(土)に東京・新宿の京王プラザホテルにて開催された、第38回日本エイズ学会学術集会・総会へ代表の沼田・事務局長の秋山が参加したほか、昨年同様コミュニティセンターブースに資料を配架しました。交通費などの一部をMSM ALL JAPANの研究費より拠出いただき、各団体との交流・意見交換を行いました。2024年度も現地開催も合わせたハイブリッド開催となりましたので、昨年に引き続き、事務所で希望者を募り視聴をしました。
- 札幌LGBTフレンドリー指標制度登録企業拡大におけるセミナー講演依頼
札幌市LGBTフレンドリー企業に登録を目指す企業様に対するLGBTに関する講演依頼を12月27日 10:30～12:00に学校法人修学院 修学院札幌調理師専門学校にて、4名の教職員、札幌市などの担当者3名にご参加いただきました。
- イオン黄色いレシートキャンペーン店頭呼びかけ
イオン札幌苗穂店にて、1月11日(土)に黄色いレシートキャンペーンの店頭呼びかけを行いました。
- LGBTQ+向け交流会×HIV 学習会「UPDATE!!」
一般社団法人にじいろほっかいどう様と共同で実施しているMSM ALL JAPANの事業として、新しい情報が届いていないMSMを含めたLGBTQ+に向けて「UPDATE」されたHIVの知識を広め、コンビネーション予防などHIV 感染の終息に向けた予防行動につなげてもらうきっかけとしていただくため2023年度より実施しています。
2024年度は1月25日(土) 13:00～14:00に、苫小牧市民活動センター ふれあい3・3 4F講習室Aにて3名と、苫小牧市社会福祉協議会(苫小牧市男女平等参画推進センター)の職員4人 計7名に参加いただきました。
また、3月16日(日)13:00～14:30に、一般社団法人にじいろほっかいどうで運営している「はこにじ」にて5名に参加いただきました。15年前で知識が止まっていました。U=UやPrEPなど、こんなにHIVが進歩していたのに驚いた。
最近SNSなどでPrEPについてをよく見かけ、簡単にできると思っていたが、薬を飲むだけではなくしっかりと検査が必要で、簡単にできるものではないことがよくわかったなどの感想をいただきました。
- 札幌市エイズ対策推進協議会出席
2月20日(木)札幌市保健所において札幌市エイズ対策推進協議会が開催され、当会から選出されている委員が出席しました。今回は対面での開催となり、札幌市における現状や2024年度の取り組みなどについて報告がありました。
- HIV陽性当事者インタビュー
JustWorldwide株式会社様による、HIV関連製薬企業に関する調査を2/27(木)にZoomによりオンラインのインタビュー形式でお引き受けしました。
- さぼーとほっと基金パンフレットラック配架
2024年度は通年を通して、イオンモール札幌苗穂店とイオンモール札幌発寒店に設置をすることができました。
なお、札幌市が実施していた、この「さぼーとほっと基金パンフレットラック」は2025年3月をもって終了となりました。

<その他特記事項>

- 各種講演会・勉強会への参加
その他、以下の講演会・勉強会に参加しました。
・7月6日(土) 日本感染症学会北海道支部総会
・7月20日(土) 社会福祉法人はばたき福祉事業団北海道支部主催 北海道HIV検査相談担当者研修会
・9月16日(月・祝) 第43回日本性科学学会学術集会
・10月5日(土) 社会福祉法人はばたき福祉事業団北海道支部主催 第15回北海道HIV情報交換会 特別講演
・12月7日(土) 釧路ろうさい病院主催 『師走講演会』
・12月19日(木) akta主催「第10回 LGBTQ+の健康に関わる最新研究の勉強会」
・12月20日(金) 松山市保健所主催「当事者の視点から見たHIV/AIDS」
・1月16日(木) akta主催「第11回 LGBTQ+の健康に関わる最新研究の勉強会」
・2月2日(日) Futures Japan 調査レファレンス会議(東京)
・3月1日(土)～3月2日(日) 厚労省研究班『MSM ALL JAPAN』班会議(岡山)
- 各種イベントへの資料提供・配布
その他、以下のイベントへ資料の提供・配布を行いました。
・4月20日(土)～4月21日(日) Tokyo Rainbow Pride コミュニティセンターaktaブース
・5月25日(土)～5月26日(日) 名古屋 NLGR+ CBO共同ブース
・6月29日(土) 山口レインボープライド 一般社団法人カラフルドットライフ(愛媛)ブース
・8月31日(土) Groovin' Herd Jazz Orchestra LIVE2024 VOL.2
・10月26日(土)～10月27日(日) 大阪レインボーフェスタ コミュニティセンターdistaブース
他、IMPRESSIONSの貸し出し希望もあり、複写したものを送付いたしました。

2 事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係る事業

| 定款の事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 支出額(千円) |
|-------------------------------|-----------------------|-------------------------------|---------------|--------|--------------|---------|
| 電話相談事業 | エイズ電話相談 | 毎週火曜 19時～22時 ※12/31は休止 | レッドリボンさっぽろ事務所 | 3人 | 354人 | 393 |
| | 電話相談員派遣(札幌市) | 第2・4木曜 16時～20時 ※相談員はシフト制 | 札幌市内の公共施設 | 2人 | 非公開 | 101 |
| HIV感染者・エイズ患者などに対する社会的支援サポート事業 | HIV陽性者交流会 in HOKKAIDO | 6月15日、8月17日、10月19日、12月21日(4回) | 札幌市内公共施設ほか | 1人 | 15人 | 16 |
| | HIV陽性当事者インタビュー | 2月27日(木) | オンライン | 1人 | 1人 | 0 |
| キルトの製作及び海外への送付事業 | キルト作成 | 毎週火曜日 10:00～14:00 | レッドリボンさっぽろ事務所 | 7人 | - | 107 |

| | | | | | | |
|------------------------------------|--|--|---------------------------------|----------|--------|-----|
| HIV感染予防等に関する普及啓発事業 | 北海道医療大学祭「九十九祭」ブース出展・ステージ発表 | 6月15日(土) 6月16日(日) | 北海道医療大学 | 3人 | 50人 | 9 |
| | Groovin' herd Jazz Orchestra LIVE 資料配布 | 8月31日(土) | 札幌市市民交流プラザ | 1人 | - | 4 |
| | ラジオ出演 | 5月21日(火)・5月28日(火)・9月10日(火)・9月24日(火)・12月3日(火) | 12/3 FMドラマシティ、それ以外は三角山放送局 | 2人 | - | 0 |
| | よしみちUPDATE!! | 9月14日(土)13時~19時 | あいあい会議室 大通2号室6階 | 3人 | 34人 | 7 |
| | さっぽろレインボープライド ブース出展 | 9月14日~9月15日 | 南1条通西3丁目 | 3人 | 30000人 | 25 |
| | みんなで考えようLGBTの老後 | 9月16日(月) 10:00~12:00 | 札幌エルプラザ 4F 研修室1 | 3人 | 25人 | 5 |
| | 札幌市主催「LGBTのためのエイズ検査」企画提案・広報・相談員派遣 | 9月27日(日) 10:00~17:00 | 札幌市白石保健センター | 2人 | 66人 | 96 |
| | イオン黄色いレシート店頭呼びかけ | 1月25日(土) | イオンモール札幌苗穂店 | 2人 | - | 0 |
| | 第38回日本エイズ学会学術集会・総会へ参加 | 11月28日(木)~11月30日(土) | 京王プラザホテル(東京・新宿) | 2人 | - | 104 |
| | ともだちづくり×HIV AIDS UPDATE | 1月13日(土) 3月16日(日) | 苫小牧市民活動センター ふれあい3・3 4F講習室A/ほこにじ | 3人 | 12人 | 40 |
| | 札幌市エイズ対策推進協議会出席 | 2月20日(木) | 札幌市保健所 | 1人 | - | 0 |
| | さぽーとほっと基金バンフレットラック配架 | 通年 | イオンモール札幌苗穂店 イオンモール札幌発寒店 | 1人 | 10人 | 2 |
| | ホームページ・ブログ・ツイッター等の運営・管理 | 通年 | | 1人 | - | 0 |
| | 講演事業 | 道東HIV拠点病院等連絡協議会・研修会講師派遣 | 7月6日(土) | 釧路ろうさい病院 | 2人 | 40人 |
| コミュニティーセンターZEL主催「HIV陽性者と語ろう」 | | 10月6日(日) | 福島県郡山市 | 1人 | 3人 | 0 |
| 札幌LGBTフレンドリー指標制度登録企業拡大におけるセミナー講演依頼 | | 12月27日(金) | 修学院札幌調理師専門学校 | 2人 | 7人 | 0 |

NPO 法人レッドリボンさっぽろ 2024 年度活動内容報告

1. エイズ電話相談

毎週火曜日 19:00~22:00 にフリーダイヤルにて実施しています。2024 年度の相談件数は昨年度から 132 件増加し 354 件となりました。(画像は電話相談のイメージです)

2024 年度は公益財団法人エイズ予防財団様より助成をいただきフリーダイヤル料・エイズ電話相談の広報資材用ポケットティッシュ・一部家賃に充当しました



2. キルト製作

2024 年年度も事務所に集まっての活動を実施しました。製作した作品は、オークションや個人売買をし、収益をアフリカにて HIV 陽性者や遺児支援を行う NPO 法人 PLAS 様に寄附しています。

(画像は 2018 年に撮影したものです。)



3. HIV 陽性者交流会 inHOKKAIDO

HIV 陽性者の相談場所のひとつとして、そしてコミュニケーションの場として HIV 陽性者交流会 inHOKKAIDO を開催しています。2024 年度は 6/15 (土)、8/17 (土)、10/19 (土)、12/21 (土) に札幌市内の公共施設で実施しました。4 月・2 月については参加申込が少なかったため中止としました。(画像は 2020 年 2 月撮影)(参加人数 6/15:4 名、8/17:3 名、10/19:4 名、12/21:4 名)



2013 年 9 月に初めて開催し、2014 年からは定期開催してきた HIV 陽性者交流会 inHOKKAIDO は 2025 年 2 月の開催で実施回数は 54 回となり、これまでの延べ参加人数は 455 人となりました。

4. 台湾レッドリボン基金会 レッドリボンさっぽろ事務所訪問

4月11日(木) 20時30分～ 財団法人「台湾レッドリボン基金会」の Social Worker Director 林垠瀚 (LIN YIN HAN) 様、Marketing Manager 林俊宏 (DON LIN) 様と通訳の方の3名がレッドリボンさっぽろ事務所に来訪され、互いに情報交換し、交流しました。



5. レッドリボンさっぽろ総会・クリス登山

5月12日(日) 10:00から、レッドリボンさっぽろ事務所にて定期総会を開催し、午後からはクリスの命日ということで、恒例の藻岩山登山をおこないました。



6. ラジオ出演

札幌市内の三角山放送局の「にじいろスマイルラジオ」三角山放送局「にじいろスマイルラジオ」にて6月の検査相談週間にあわせて5/21・5/28放送回に代表の沼田が出演しHIV/エイズのこと、HIV検査についてお伝えしたほか、9/10および9/24放送回において事務局長の秋山が9/29に実施されるLGBTのためのエイズ検査会の広報を行いました。また12月の世界エイズデーに合わせて、代表の沼田と事務局長の秋山がFMドラマシティの『高橋愛紀が贈る SOGI-Mamii's ハピネス♥Umbrella↑』の12/3放送回に出演し、HIV/エイズのこと、PrEPやU=U、検査のことなどをお話ししました。



7. 北海道医療大学 大学祭「九十九祭」ブース出展・ステージ発表

6月15日(土)～6月16日(日)に北海道医療大学 大学祭「九十九祭」に1F 中央講義棟ロビーにてブース出展し、クリスのメモリアルキルトの展示の他、検査の重要項目についてのアンケートを実施し、27名の方に回答いただきました。また6月16日(日)にはステージ発表を行いました。



8. 大学生・専門学校生向けエイズ・性感染症出張講座

世界エイズデー札幌実行委員会として、沼田が6/12(水) 13:30~15:00に札幌保健医療大学保健医療学部看護学科99名に、沼田・秋山が1/16(木)日本医療大学 保健医療学部 臨床検査学科の3年生 4コマ目(14:40-16:10)、62名にそれぞれ実施。

※世界エイズデー札幌実行委員会が受託した事業のため、当会の事業報告書には記載しておりません。



9. 道東 HIV 拠点病院等連絡協議会・研修会の講師派遣

釧路ろうさい病院にて7月6日(土)に道東 HIV 拠点病院等連絡協議会・研修会が開催され、16:30 から 特別講演として『HIV 検査相談室「サークルさっぽろ」の活動と HIV 検査のこれから』について代表の沼田がお話ししました。



10. 日本性感染症学会北海道支部総会への参加

アスティ 45 16F ACUにて7月6日(土)に開催された日本性感染症学会北海道支部総会・学術集会にスタッフ1名が参加しました。



11. 北海道 HIV 検査相談担当者研修会への参加

かでの 2・7にて7月20日(土)に社会福祉法人はばたき福祉事業団北海道支部主催で開催された北海道 HIV 検査相談担当者研修会に相談員1名が参加しました。

12. Groovin'herd Jazz Orchestra LIVE 資材配布

8月31日(土) Groovin' herd Jazz Orchestra LIVE 2024 Vol.2が札幌市市民交流プラザ・クリエイティブスタジオにて開催され、主催者にご協力いただき、ライブ会場受付にて、当会の活動リーフレットと LGBT 啓発資材を配架しました。



13. さっぽろレインボープライド参加

9月14日(土)~9月15日(日)実施。歩行者天国となった南1条通の西3丁目にブースを出展しました。初日9月14日(土)はSapporo5リボンズとして、2日目はレッドリボンさっぽろ単独でブース出展しました。総動員数は約3万人、パレード参加者は1000名でした。

(さっぽろレインボープライド実行委員会発表)



14. よりみち UPDATE

一般社団法人にじいろほっかいどう様と共同で実施をしている MSM ALL JAPAN の事業として、さっぽろレインボープライド初日の9月14日(土) 札幌市中央区大通西2丁目陶管ビル6F(あいあい会議室 大通2号室6階)にて開催しました。

当日はわたあめ機を持ち込み、にじいろほっかいどう・レッドリボンさっぽろの各種広報資材、検査会のフライヤー、コンドームの展示・配布と九十九祭で実施した HIV 検査のアンケートを実施。わたあめをやりながらおしゃべりができるフリースペースとして開放しました。15時からHIVの基礎知識、コンドームの付け方、色水ワークを実施。開催時間中のべ34名のご利用を頂きました。



15. みんなで考えよう LGBT の老後

一般社団法人にじいろほっかいどう様と共同で実施をしている MSM ALL JAPAN の事業として、9月16日(月・祝)10:00~12:00 札幌エルプラザ 4F 研修室 1 にて対面・zoomのハイブリッドにて開催しました。

講師としてNPO法人パープルハンズ事務局長の永易至文さんをお招きしました。会場10名、Zoomに15名ほどご参加いただきました「支援企業側にもマイノリティはいる。支援者側のケアも必要。」「死や法律の話は、大事と分かっているけどとっつきにくさを感じる…という本音にもしっかりより浴っていただき、笑いも交えた有益な情報盛りだくさん！素晴らしい企画をありがとうございました！！」といった感想をいただきました。



16. 第43回日本性科学会学術集会への参加

9月16日(月・祝)に札幌医科大学で開催された、第43回日本性科学会学術集会に参加しました。



17. 札幌市 LGBT のためのエイズ検査会協力 (広報・相談員派遣)

9月29日(日)9:30~11:30 13:30~15:30
札幌市白石区保健センターにて実施

予約枠を昨年の80枠から96枠に増やし9/29に白石保健センターで実施。例年レッドリボンさっぽろでは、検査会の広報と、検査会へ相談員の派遣を実施しており、さっぽろレインボープライドHPへのバナー広告掲載、札幌ハッテン掲示板、9monstersへの広告掲載、HIV検査・相談マップ、はばたき福祉事業団北海道支部 HANDへの情報掲載を行っています。加



えて検査当日の相談員派遣業務の委託を受けています。最終受検者数は66名で、うち梅毒検査60人、HIV要確認・梅毒陽性各1人でした。当日は、受付時に保健所職員の皆様にもご協力をいただき、4件の相談がありました。



18. 北海道 HIV 情報交換会 特別講演への参加

10月5日(土)に 社会福祉法人はばたき福祉事業団北海道支部の主催により第15回北海道 HIV 情報交換会が開催され、特別講演に当会所属のスタッフが参加しました。

19. HIV 陽性者と語ろうオンラインイベントへの登壇

10月6日(日)10:00~12:00に仙台のHIVコミュニティセンターZEL主催により、HIV陽性者と語ろうが福島県郡山市内で開催され、当会所属のHIV陽性者が現地で登壇しました。スタッフ3名・参加者2名(Zoom1名) テーマは『U=U』。HIVの歴史、私の自己紹介、カミングアウト、U=Uのほか、PrEPについてもお話をしました。



20. 宮武さんを囲む会

10月12日(土)宮武さんが来札され、有志にて宮武さんを囲む会をレッドリボンさっぽろ事務所で開催しました。久しぶりに集まった仲間とおしゃべりをしながらおいしいご飯を食べ、お酒を飲んで楽しい時間を過ごすことができました。



21. 第38回日本エイズ学会への参加

現地開催・ライブ配信：11月28日(木)~11月30日(土)
オンデマンド配信：12月17日(火)~1月7日(火)
会場：京王プラザホテル新宿

11月28日(木)~30日(土)に東京・新宿の京王プラザホテルにて開催された、第38回日本エイズ学会学術集会・総会へ代表の沼田・事務局長の秋山が参加したほか、昨年同様コミュニティセンターブースにパンフレットやラバーバンド、電話相談の広報ツールを折り込んだポケットティッシュなどを配架し、各団体との交流・意見交換を行いました。交通費などの一部をMSM ALL JAPANの研究費などから拠出いただきました。2024年度も現地開催も合わせたハイブリッド開催となりましたので、昨年に引き続き、事務所で視聴をしました。



22. 釧路ろうさい病院主催『師走講演会』への参加

これまでイルファークルが実施してきた師走講演会を釧路ろうさい病院が引き継ぎ、12月7日(日)に対面で開催されました。

当会からは沼田が現地に訪問し参加しました。



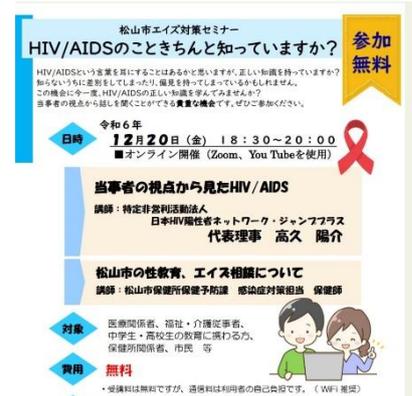
23. akta 主催「第 10 回 LGBTQ+の健康に関わる最新研究の勉強会」

東京の akta が毎月実施している LGBTQ+の健康に関わる最新研究の勉強会のうち、12月19日に実施された「第 10 回 LGBTQ+の健康に関わる最新研究の勉強会」に沼田・秋山・秋谷がオンラインで参加しました。



24. 松山市保健所主催エイズ対策セミナーへの参加

12月20(金)松山市保健所主催にて、松山市エイズ対策セミナー『当事者の視点から見た HIV/AIDS』がオンラインで開催され、当会からは沼田・秋山・秋谷が参加しました。



25. 札幌 LGBT フレンドリー指標制度登録企業への講演依頼

札幌市 LGBT フレンドリー企業に登録を目指す企業様に対する LGBT に関する講演依頼を 12月27日 10:30~12:00に学校法人修学院 修学院札幌調理師専門学校にて、4名の教職員、札幌市などの担当者3名にご参加いただきました。



26. イオン黄色いレシートキャンペーン店頭呼びかけ

毎月11日のイオンデーに買い物をすると発行される黄色いレシートを専用BOXに投函すると、レシート合計金額の1%にあたる品物が地域のボランティア団体などに寄付される「イオン黄色いレシートキャンペーン」。当会のボックスがあるイオン札幌苗穂店にて、1月11日に店頭呼びかけを行いました。たくさんのお客様が、黄色いレシートを専用ボックスに投函してくださいました。2024年度も本当に多くの皆様から支援をいただき、40,700円分のイオンギフトカードを贈呈いただきました。



27. akta 主催「第 11 回 LGBTQ+の健康に関わる最新研究の勉強会」

東京の akta が毎月実施している LGBTQ+の健康に関わる最新研究の勉強会のうち、1月16日に実施された「第 11 回 LGBTQ+の健康に関わる最新研究の勉強会」に沼田がオンラインで参加しました。



28. ともだちづくり×HIV AIDS「苦小牧 UPDATE」

1月25日(土) LGBTQ+に向けた交流会×HIV 学習会「UPDATE!」を、(一社)にじいろほっかいどうと共催で苦小牧にて開催しました。一般社団法人にじいろほっかいどう様と共同で実施をしている MSM ALL JAPAN の事業として LGBTQ+に向けて「UPDATE」された HIV の知識を広め、コンドーム予防など HIV 感染の終息に向けた予防行動につなげてもらうきっかけとしていただくため 2023 年度より実施しています。

1月25日(土) 13:00~14:00 に、苦小牧市民活動センター ふれあい3・3 4F 講習室 A にて参加者3名と、苦小牧市社会福祉協議会(苦小牧市男女平等参画推進センター)の職員4人 計7名に参加いただきました。クイズを用いた HIV/エイズの基礎知識のほか、感染の広がりや考えるワークやコンドームの正しい着け方を体験するワークなどを行い、HIV/エイズについて楽しく学ぶ機会となりました。



29. Futures Japan 調査レファレンス会議への参加

HIV Futures Japan プロジェクトにより実施される、HIV 陽性者向け大規模ウェブアンケート調査「HIV 陽性者のためのウェブ調査」の第5回調査開始に向け、調査項目の確認・追加修正のための会議が2月2日(日)に東京の放送大学で開催され、当事者のミツルさんが参加しました。

30. 札幌市エイズ対策推進協議会出席

2月20日(木)札幌市保健所において札幌市エイズ対策推進協議会が開催され、委員である代表の沼田が出席しました。札幌市における現状や2024年度の取り組みなどについて報告がありました。

31. HIV 陽性当事者インタビュー

JustWorldwide 株式会社様による、HIV 関連製薬企業に関する調査を2/27(木)にZoomによりオンラインのインタビュー形式でお引き受けしました。

32. 厚労省研究班『MSM ALL JAPAN』班会議への出席

全国各地で『MSM ALL JAPAN』として活動する全国のCBOの活動報告と意見交換を兼ねた班会議が2月28日(金)~3月2日(日)の3日間の日程にて岡山市内で開催されました。北海道での事業を共同で行う(一社)にじいろほっかいどう様と出席をし、当会からは沼田と秋山が出席しました。



33. ともだちづくり×HIV AIDS 『函館 UPDATE!!』

3月16日(日)LGBTQ+向け交流会×HIV 学習会「UPDATE!」を、(一社) にじいろほっかいどうと共催で、にじいろほっかいどうが実施するイベント『たらった』とのコラボイベントとしてはこにじにて開催し、5名に参加いただきました。

15年前で知識が止まっていた。U=U や PrEP など、こんなに HIV が進歩していたのに驚いた。最近 SNS など PrEP についてをよく見かけ、簡単にできると思っていたが、薬を飲むだけでなくしっかりと検査が必要で、簡単にできるものではないことがよくわかったなどの感想をいただきました。

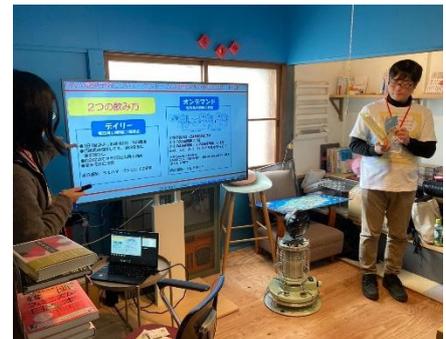
函館 LGBTQs の交流ひろば
たらった 函館 UPDATE!!
コラボスペシャル!

函館「はこにじ」で開催している交流イベント「たらった」1。LGBTQ+の方、そうかもしれない方なら、だれでも参加できます！今回は前半「函館 UPDATE!!」として、HIV・AIDSの知識を UPDATE!! する内容で開催します。その後はいつもの「たらった」です。多くの方々に聞いてほしいのでぜひ！13時からご参加くださいね～！今回はなんと参加費無料！申し込みは限りません。遊びに来てね！

次回開催は **3月16日(日)** から **13:00** から (17:00終了予定)
会場：はこにじ(元可 2-9)

事前申込 いりません
実験もやるよ!

函館 UPDATE!! 主催：(一社) にじいろほっかいどう・NPO 法人レッドリボンさっぽろ



34. 札幌市さぽーとほっと基金パンフレットラック配架

2023 年度も通年でイオンモール札幌苗穂店・イオンモール発寒店にパンフレット等を配架することができました。

なお、このさぽーとほっと基金パンフレットラックは 2025 年 3 月をもって終了となりました。



35. ホームページ・ブログ・Twitter・Facebook の定期更新

レッドリボンさっぽろでは独自ドメインを取得し、ホームページの製作は他社に委託せず全て自らが作成しています。

HP・ブログ・Twitter・Facebook を定期的に更新し、イベントなどの情報を発信しています。



36. 札幌市内にある民間 HIV 検査施設「サークルさっぽろ」協力

レッドリボンさっぽろでは 2007 年に開設した民間 HIV 検査施設「サークルさっぽろ」の広報担当をしており、イベントでの広報資材配布を行っているほか、開設以来ボランティアスタッフを派遣しています。

2024年度活動計算書

(単位:円)

| 勘定科目 | 2024年度予算 | 2024年度決算 | 備考 |
|----------------|------------------|------------------|---------------------------------------|
| I 経常収益 | | | |
| 1. 受取会費 | | | |
| 会費区分 | | | |
| 正会員費 | 36,000 | 54,000 | |
| 賛助会員費 | 70,000 | 96,000 | |
| キルト会員費 | 17,500 | 17,500 | 2024年度キルト会員7名 |
| 受取会費計 | 123,500 | 167,500 | |
| 2. 受取寄付金 | 110,000 | 308,641 | |
| 3. 受取助成金 | | | |
| エイズ予防財団 | 380,000 | 380,000 | 2024年度電話相談事業380,000円 |
| イオン黄色いレシート | 50,800 | 50,800 | 2024年4月贈呈分 |
| その他助成金 | 200,000 | 0 | bdaオーガニック助成金。2024年度に支払予定 |
| 受取助成金計 | 630,800 | 430,800 | |
| 4. 事業収益 | | | |
| 陽性者支援事業(ななかまど) | 10,000 | 16,500 | インタビュー形式調査協力 |
| 電話相談事業 | 200,000 | 180,580 | LGBTほっとライン |
| キルト事業 | 95,000 | 45,810 | ヤフオク!などでの販売 |
| 普及啓発事業 | 98,000 | 314,970 | サークルさっぽろバナー広告料・MSM検査会・MSM ALL JAPAN事業 |
| 講演事業 | 0 | 0 | |
| 事業収益計 | 403,000 | 557,860 | |
| 5. その他収益 | | | |
| 受取利息 | 3 | 304 | 利息 |
| 雑収入 | | | |
| その他収益計 | 3 | 304 | |
| 経常収益計 | 1,267,303 | 1,465,105 | |
| II 経常費用 | | | |
| 1. 事業費 | | | |
| (1)人件費 | | | |
| 給与手当 | 108,000 | 81,400 | LGBTほっとライン・さっぽろレインボープライドスタッフ手当 |
| 人件費計 | 108,000 | 81,400 | |
| (2)その他経費 | | | |
| 旅費交通費 | 73,200 | 222,120 | LGBTほっとライン |
| 通信費 | 150,000 | 161,156 | フリーダイヤル料など |
| 印刷製本費 | 22,000 | 10,200 | 陽性者交流会広報資材・MSM検査会WEB広告制作費 |
| 材料費 | 60,000 | 25,218 | キルト材料費 |
| 会議費 | 20,000 | 13,735 | 交流会会場費・助成金事業会場費など |
| 荷造発送費 | 74,600 | 79,642 | 電話相談助成金事業発送費・キルト販売発送費 |
| 事務消耗品費 | 0 | 0 | |
| 消耗品費 | 87,000 | 51,920 | ゆうそう検査・さっぽろレインボープライドブース備品等 |
| 業務委託料 | 33,000 | 30,000 | さっぽろレインボープライドバナーデザイン委託費 |
| 広告宣伝費 | 20,000 | 62,000 | さっぽろレインボープライドバナー広告費 |
| 諸謝金 | 0 | 0 | |
| 複写費 | 0 | 390 | |
| 地代家賃 | 0 | 75,000 | 家賃(エイズ予防財団助成金分) |
| 支払手数料 | 19,350 | 13,665 | キルト部門ヤフオク!各種手数料 |
| 交際費 | 0 | 0 | |
| 租税公課 | 1,200 | 2,340 | 登記簿謄本取得など |
| 雑費 | 110,000 | 80,000 | キルト PLASさんへの寄付 さっぽろレインボープライドブース出展料 |
| その他経費計 | 670,350 | 827,386 | |
| 事業費計 | 778,350 | 908,786 | |
| 2. 管理費 | | | |
| (1)人件費 | | | |
| 給与手当 | 0 | 0 | |
| 人件費計 | 0 | 0 | |
| (2)その他経費 | | | |
| 地代家賃 | 180,000 | 105,000 | 家賃 |
| 水道光熱費 | 110,920 | 107,096 | 水道¥40,920・電気¥59,663 |
| 保険料 | 12,000 | 10,580 | ボランティア保険料・事務所火災保険料(2年分) |
| その他経費計 | 307,920 | 222,676 | |
| 管理費計 | 307,920 | 222,676 | |
| 経常費用計 | 1,086,270 | 1,131,462 | |
| 当期正味財産増減額 | 181,033 | 333,643 | |
| 前期繰越正味財産額 | 680,520 | 680,520 | |
| 次期繰越正味財産額 | 861,553 | 1,014,163 | うち、クリス基金252,880円 |

2024年度 レッドリボンさっぽろ 事業別決算

| 科目 | 陽性者支援事業(ななかまど) | | | 電話相談事業 | | | キルト事業 | | | 普及啓発事業 | | | 講演事業 | | | 事業部門計 | | | 管理部門 | | | 合計 | | |
|----------------|----------------|---------------|---------------|----------------|----------------|---------------|----------------|----------------|--------------|----------------|----------------|---------------|----------|----------|-----|------------------|------------------|---------------|----------------|----------------|----------------|------------------|------------------|---------------|
| | 予算 | 実績 | 予算比 | 予算 | 実績 | 予算比 | 予算 | 実績 | 予算比 | 予算 | 実績 | 予算比 | 予算 | 実績 | 予算比 | 予算 | 実績 | 予算比 | 予算 | 実績 | 予算比 | 予算 | 実績 | 予算比 |
| I 経常収益 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. 受取会費 | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 17,500 | 17,500 | 100.0% | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 17,500 | 17,500 | 100.0% | 106,000 | 150,000 | 141.5% | 123,500 | 167,500 | 135.6% |
| 正会員費 | | | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 36,000 | 54,000 | 150.0% | 36,000 | 54,000 | 150.0% |
| 賛助会員費 | | | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 70,000 | 96,000 | 137.1% | 70,000 | 96,000 | 137.1% |
| キルト会員費 | | | | 0 | 0 | | 17,500 | 17,500 | 100.0% | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 17,500 | 17,500 | 100.0% | 0 | 0 | | 17,500 | 17,500 | 100.0% |
| 2. 受取寄付金 | | | | 0 | 0 | | 0 | 2,400 | | 0 | 22,501 | | 0 | 0 | | 0 | 24,901 | | 110,000 | 283,740 | 257.9% | 110,000 | 308,641 | 280.6% |
| 3. 受取助成金等 | 0 | 0 | | 380,000 | 380,000 | 100.0% | 0 | 25,072 | | 200,000 | 25,728 | 12.9% | 0 | 0 | | 580,000 | 430,800 | 74.3% | 50,800 | 0 | 0.0% | 630,800 | 430,800 | 68.3% |
| エイズ予防財団 | | | | 380,000 | 380,000 | 100.0% | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 380,000 | 380,000 | 100.0% | 0 | 0 | | 380,000 | 380,000 | 100.0% |
| さぼーとほっと基金 | | | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | |
| イオン黄色いレシート | | | | 0 | 0 | | 0 | 25,072 | | 0 | 25,728 | | 0 | 0 | | 0 | 50,800 | | 50,800 | 0 | 0.0% | 50,800 | 50,800 | 100.0% |
| その他助成金 | | | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 200,000 | 0 | 0.0% | 0 | 0 | | 200,000 | 0 | 0.0% | 0 | 0 | | 200,000 | 0 | 0.0% |
| 4. 事業収益 | 10,000 | 16,500 | 165.0% | 200,000 | 180,580 | 90.3% | 95,000 | 45,810 | 48.2% | 98,000 | 314,970 | 321.4% | 0 | 0 | | 403,000 | 557,860 | 138.4% | 0 | 0 | | 403,000 | 557,860 | 138.4% |
| 5. その他収益 | | | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 6 | | 3 | 298 | 9933.3% | 3 | 304 | ##### |
| 経常収益計 | 10,000 | 16,500 | 165.0% | 580,000 | 560,580 | 96.7% | 112,500 | 90,788 | 80.7% | 298,000 | 363,199 | 121.9% | 0 | 0 | | 1,000,500 | 1,031,067 | 103.1% | 266,803 | 434,038 | 162.7% | 1,267,303 | 1,465,105 | 115.6% |
| II 経常費用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (1) 人件費 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 役員報酬 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | | | | | 0 | 0 | |
| 給料手当 | | | | 105,000 | 80,400 | 76.6% | 0 | 0 | | 3,000 | 1,000 | 33.3% | 0 | 0 | | 108,000 | 81,400 | 75.4% | 0 | 0 | | 108,000 | 81,400 | 75.4% |
| 法定福利費 | | | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | |
| 人件費計 | 0 | 0 | | 105,000 | 80,400 | 76.6% | 0 | 0 | | 3,000 | 1,000 | 33.3% | 0 | 0 | | 108,000 | 81,400 | 75.4% | 0 | 0 | | 108,000 | 81,400 | 75.4% |
| (2) その他経費 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 旅費交通費 | | | | 67,200 | 71,060 | 105.7% | 0 | 0 | | 6,000 | 151,060 | 2517.7% | 0 | 0 | | 73,200 | 222,120 | 303.4% | 0 | 0 | | 73,200 | 222,120 | 303.4% |
| 通信費 | | | | 150,000 | 161,156 | 107.4% | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 150,000 | 161,156 | 107.4% | 0 | 0 | | 150,000 | 161,156 | 107.4% |
| 印刷製本費 | 22,000 | 10,200 | 46.4% | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 22,000 | 10,200 | 46.4% | 0 | 0 | | 22,000 | 10,200 | 46.4% |
| 材料費 | | | | 60,000 | 25,218 | 42.0% | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 60,000 | 25,218 | 42.0% | 0 | 0 | | 60,000 | 25,218 | 42.0% |
| 会議費 | 20,000 | 4,295 | 21.5% | 0 | 9,440 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 20,000 | 13,735 | 68.7% | 0 | 0 | | 20,000 | 13,735 | 68.7% |
| 荷造発送費 | | 0 | | 60,000 | 72,140 | 120.2% | 7,000 | 5,940 | 84.9% | 7,600 | 1,562 | 20.6% | 0 | 0 | | 74,600 | 79,642 | 106.8% | 0 | 0 | | 74,600 | 79,642 | 106.8% |
| 消耗品費 | 0 | 1,326 | | 24,000 | 24,480 | 102.0% | 3,000 | 4,347 | 144.9% | 60,000 | 21,767 | 36.3% | 0 | 0 | | 87,000 | 51,920 | 59.7% | 0 | 0 | | 87,000 | 51,920 | 59.7% |
| 業務委託料 | | | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 33,000 | 30,000 | 90.9% | 0 | 0 | | 33,000 | 30,000 | 90.9% | 0 | 0 | | 33,000 | 30,000 | 90.9% |
| 広告宣伝費 | | | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 20,000 | 62,000 | 310.0% | 0 | 0 | | 20,000 | 62,000 | 310.0% | 0 | 0 | | 20,000 | 62,000 | 310.0% |
| 諸謝金 | | | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | |
| 複写費 | | | | 0 | 140 | | 0 | 0 | | 0 | 250 | | 0 | 0 | | 0 | 390 | | 0 | 0 | | 0 | 390 | |
| 研修費 | | | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | |
| 水道光熱費 | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 110,920 | 107,096 | 96.6% | 110,920 | 107,096 | 96.6% |
| 電気 | | | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 70,000 | 66,176 | 94.5% | 70,000 | 66,176 | 94.5% |
| ガス | | | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | |
| 水道 | | | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 40,920 | 40,920 | 100.0% | 40,920 | 40,920 | 100.0% |
| 地代家賃 | | | | 0 | 75,000 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 75,000 | | 180,000 | 105,000 | 58.3% | 180,000 | 180,000 | 100.0% |
| 支払手数料 | 550 | 440 | 80.0% | 2,800 | 440 | 15.7% | 15,000 | 11,549 | 77.0% | 1,000 | 1,236 | 123.6% | 0 | 0 | | 19,350 | 13,665 | 70.6% | 0 | 0 | | 19,350 | 13,665 | 70.6% |
| 交際費 | | | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 5,000 | 0 | 0.0% | 5,000 | 0 | 0.0% |
| 保険料 | | | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 12,000 | 10,580 | 88.2% | 12,000 | 10,580 | 88.2% |
| 租税公課 | | | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 2,340 | | 0 | 0 | | 0 | 2,340 | | 1,200 | 0 | 0.0% | 1,200 | 2,340 | 195.0% |
| 雑費 | | | | 0 | 0 | | 60,000 | 60,000 | 100.0% | 50,000 | 20,000 | 40.0% | 0 | 0 | | 110,000 | 80,000 | 72.7% | 0 | 0 | | 110,000 | 80,000 | 72.7% |
| その他経費計 | 42,550 | 16,261 | 38.2% | 304,000 | 413,856 | 136.1% | 145,000 | 107,054 | 73.8% | 177,600 | 290,215 | 163.4% | 0 | 0 | | 669,150 | 827,386 | 123.6% | 309,120 | 222,676 | 72.0% | 978,270 | 1,050,062 | 107.3% |
| 経常費用計 | 42,550 | 16,261 | 38.2% | 409,000 | 494,256 | 120.8% | 145,000 | 107,054 | 73.8% | 180,600 | 291,215 | 161.2% | 0 | 0 | | 777,150 | 908,786 | 116.9% | 309,120 | 222,676 | 72.0% | 1,086,270 | 1,131,462 | 104.2% |
| 当期経常増減額 | -32,550 | 239 | -0.7% | 171,000 | 66,324 | 38.8% | -32,500 | -16,266 | 50.0% | 117,400 | 71,984 | 61.3% | 0 | 0 | | 223,350 | 122,281 | 54.7% | -42,317 | 211,362 | -499.5% | 181,033 | 333,643 | 184.3% |

監査報告書

特定非営利活動法人レッドリボンさっぽろ

理事長 沼田 栗実 殿

2025年4月27日

特定非営利活動法人レッドリボンさっぽろ

監事 伊藤 雅子

監事 長瀬 直子



私は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、2024年4月1日から2025年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び活動計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実
は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

2024年度エイズ電話相談事業報告書

■ 概要 1995年1月から開始し、毎週火曜日夜7～10時に、相談員2名体制で、電話相談を行っている。

■ 目的／経過 HIV感染に対する不安を持つ人、感染後のサポートを求める人に対する相談。

■ 結果／効果 2024年4月～2025年3月の電話相談集計結果

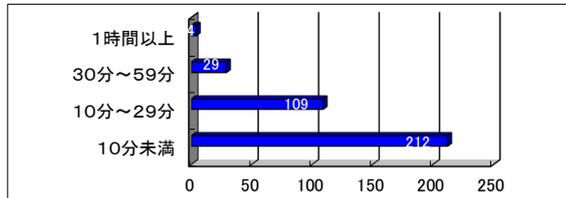
合計件数 354件

1、時刻

| 時刻 | 件数 | 割合 |
|------------|-----|--------|
| 7:00～8:00 | 156 | 44.1% |
| 8:00～9:00 | 99 | 28.0% |
| 9:00～10:00 | 99 | 28.0% |
| 合計 | 354 | 100.0% |

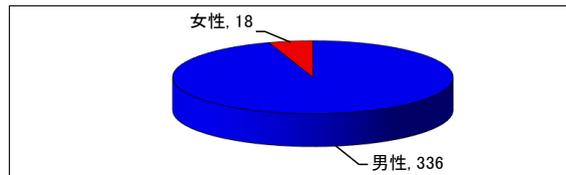
2、時間

| 時間 | 件数 | 割合 |
|---------|-----|--------|
| 10分未満 | 212 | 59.9% |
| 10分～29分 | 109 | 30.8% |
| 30分～59分 | 29 | 8.2% |
| 1時間以上 | 4 | 1.1% |
| 合計 | 354 | 100.0% |



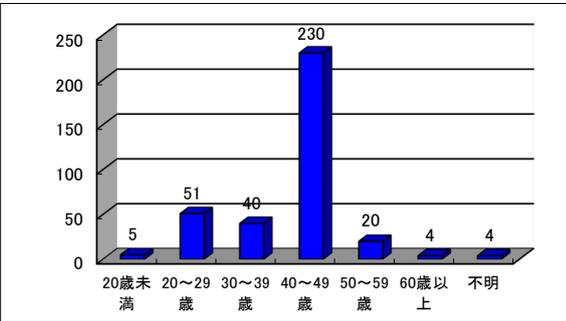
3、性別

| 性別 | 件数 | 割合 |
|----|-----|--------|
| 男性 | 336 | 94.9% |
| 女性 | 18 | 5.1% |
| 他 | 0 | 0.0% |
| 不明 | 0 | 0.0% |
| 合計 | 354 | 100.0% |



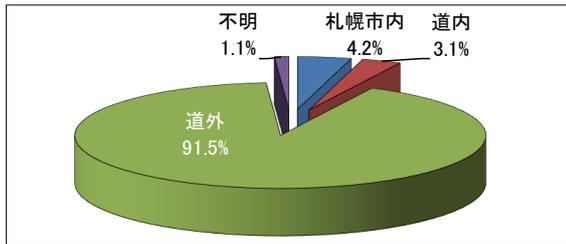
4、年齢

| 年代 | 件数 | 割合 |
|--------|-----|--------|
| 20歳未満 | 5 | 1.4% |
| 20～29歳 | 51 | 14.4% |
| 30～39歳 | 40 | 11.3% |
| 40～49歳 | 230 | 65.0% |
| 50～59歳 | 20 | 5.6% |
| 60歳以上 | 4 | 1.1% |
| 不明 | 4 | 1.1% |
| 合計 | 354 | 100.0% |



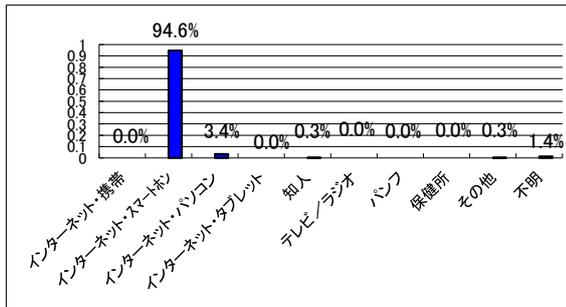
5、地域

| 地域 | 件数 | 割合 |
|------|-----|--------|
| 札幌市内 | 15 | 4.2% |
| 道内 | 11 | 3.1% |
| 道外 | 324 | 91.5% |
| 不明 | 4 | 1.1% |
| 合計 | 354 | 100.0% |



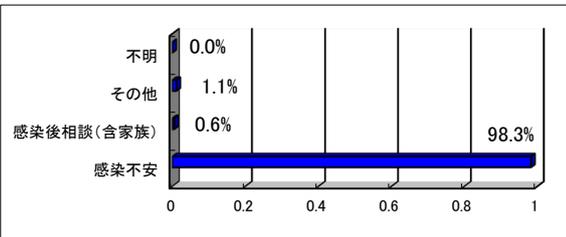
6、情報源

| 情報源 | 件数 | 割合 |
|-----------------|-----|--------|
| インターネット・携帯 | 0 | 0.0% |
| インターネット・スマートフォン | 335 | 94.6% |
| インターネット・パソコン | 12 | 3.4% |
| インターネット・タブレット | 0 | 0.0% |
| 知人 | 1 | 0.3% |
| テレビ／ラジオ | 0 | 0.0% |
| パンフ | 0 | 0.0% |
| 保健所 | 0 | 0.0% |
| その他 | 1 | 0.3% |
| 不明 | 5 | 1.4% |
| 合計 | 354 | 100.0% |



[相談内容]

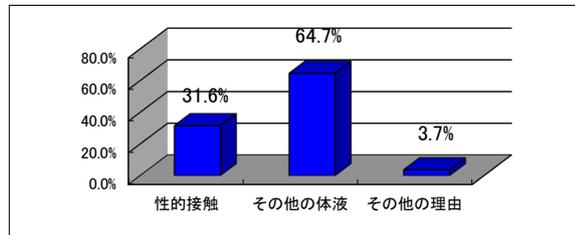
| 相談内容 | 件数 | 割合 |
|------------|-----|--------|
| 感染不安 | 348 | 98.3% |
| 感染後相談(含家族) | 2 | 0.6% |
| その他 | 4 | 1.1% |
| 不明 | 0 | 0.0% |
| 合計 | 354 | 100.0% |



1、感染不安の不安要因

※相談内容「感染不安」の内の不安要因

| | 件数 | 割合 |
|--------|-----|--------|
| 性的接触 | 110 | 31.6% |
| その他の体液 | 225 | 64.7% |
| その他の理由 | 13 | 3.7% |
| 合計 | 348 | 100.0% |



2、検査についての相談

| | 件数 |
|----|-----|
| あり | 88 |
| なし | 260 |
| 合計 | 348 |

3、他の性感染症についての相談

※不安要因が「性的接触」の内の相談

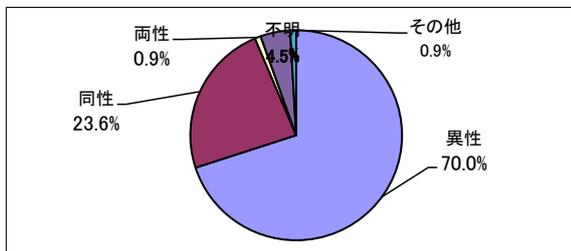
| | 件数 |
|----|-----|
| あり | 15 |
| なし | 333 |
| 合計 | 348 |

4、エイズ不安症候群

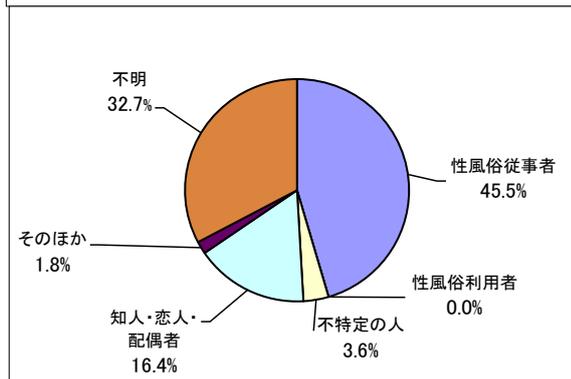
| | 件数 |
|----|-----|
| あり | 207 |
| なし | 141 |
| 合計 | 348 |

5、性行為の相手

| | 件数 | 割合 |
|-----|-----|--------|
| 異性 | 77 | 70.0% |
| 同性 | 26 | 23.6% |
| 両性 | 1 | 0.9% |
| 不明 | 5 | 4.5% |
| その他 | 1 | 0.9% |
| 合計 | 110 | 100.0% |



| | 件数 | 割合 |
|-----------|-----|--------|
| 性風俗従事者 | 50 | 45.5% |
| 性風俗利用者 | 0 | 0.0% |
| 不特定の人 | 4 | 3.6% |
| 知人・恋人・配偶者 | 18 | 16.4% |
| そのほか | 2 | 1.8% |
| 不明 | 36 | 32.7% |
| 合計 | 110 | 100.0% |



6、行為内容※コンドームに関して

| | 不使用 | 最初から使用 | 途中から使用 | きけた・はずれた | つけたりつけなかったり | 不明 |
|---------|-----|--------|--------|----------|-------------|----|
| 膣性交 | 25 | 20 | 2 | 4 | 2 | 0 |
| 肛門性交 | 14 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| フェラチオ | 28 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| クニニリングス | 11 | 0 | | | | |
| 素股 | 12 | | | | | |
| キス | 8 | | | | | |
| その他 | 13 | | | | | |

| ※月別件数 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 前期計 | |
|-------|-----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|
| | 31 | 25 | 27 | 30 | 25 | 25 | 163 | |
| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 後期計 | |
| | 33 | 44 | 31 | 29 | 18 | 36 | 191 | |
| | | | | | | | 年間計 | 354 |

■分析

- ・件数は昨年度の222件（一日平均4.4件）から354件（一日平均6.9件）と年間受付件数は増加した。（昨年度は年間50回、今年度は年間51回の相談受付日数）
しかし、うち200件ほどが日常生活におけるHIV感染に不安を抱える特定の方からの相談となった。また、正確な件数までは出せないが、年間で10件程度女性相談員に対するセクハラ電話も一定数ある。（男性相談員の場合は電話を切られるか、男性相談員に対して不適切な発言をすることがある）
- ・国内でのPrEPおよびPEP（nPEP：性行為による暴露後予防）を診断・処方するクリニックが広がるにつれ、PEP・PrEPに関する相談や予防方法として提案する機会も来ており、今後も継続してPrEP・PEPに対する知識の拡充と適切な対応を当電話相談では心がけていきたい。
- ・また術前のHIVスクリーニング検査で陽性となり、確認検査結果待ちの方からの相談があったが、スクリーニング検査結果を伝えられる際に適切な説明がされずに不安につながっている事例も見られた。普段HIVと関わりのない医師や検査担当者に対しても検査の正しい知識やHIVの知識習得が求められる。
- ・情報源としては、インターネットで、スマートフォンからの相談が94.6%とはじめて9割を超えた。2024年度はエイズ予防財団の助成金を受け、電話料金への活用と併せて電話相談の広報資材配布を当会主催のイベント等で配布を行ったほか、当会と関わりのあるLGBT関連団体やMSM ALL JAPANに加わる全国のコミュニティセンターを通じて各種イベントでも配布いただきました。
- ・相談員は2023年度から1名減となり2名体制で実施した。相談員の仕事の都合で日にち・時間によって2名体制の維持が難しいケースもあり、受話品質向上に努めるとともに、新たな相談員の確保・育成による受話体制の整備が急務となっている。

当事者共生事業 “ななかまど Project” 報告

担当者: 秋山 満

●概要:

HIV 陽性者とその家族・パートナー・周囲の人の精神的な支えとなり、地域に根ざした情報を提供していくことを目的に

○HIV 陽性者のための面談ルーム 「くれば一緒に」 を実施している。

また、北海道 HIV 陽性者ピアグループミーティング事業「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」を 2014 年 6 月より定期開催。

※2024 年度も日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス様から協賛をいただいた。

●目的:

北海道に暮らす HIV 陽性者が「今よりもっと元気になるために必要としていること」を共に考え、形にしていく。

●経過:

- ・ 「くれば一緒に」 予約制 毎月第 2・第 4 日曜日 13:00-15:00
- ・ 「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」 偶数月第 3 土曜日開催 2024 年度は全てを札幌で開催
期日 4 月 20 日・6 月 15 日・8 月 17 日・10 月 19 日・12 月 21 日・2025 年 2 月 15 日
(4 月 20 日・2 月 15 日は申込みが少なく中止)

●結果・効果:

- ・ 2024 年度において「くれば一緒に」の利用は無かった。
- ・ 「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」 2024 年度の参加延べ人数は 15 名となり、これまでの開催 54 回で参加延べ人数は 455 名となった。(昨年度は全 4 回で 19 名)
6/15:4 名、8/17:3 名、10/19:4 名、12/21:4 名)
- ・ 2/27 に JustWorldwide 株式会社様による、HIV 関連企業に関する調査を 2/27(木)に Zoom により HIV 陽性当事者に対するインタビュー形式でお引き受けしました。

●課題:

- ・ 「くれば一緒に」の利用についてはここ数年ゼロの状態が続いている。
- ・ 「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」は人目があるから地元では参加できないけど札幌だったら…という意見もあり、当面は札幌のみでの開催としたい。
- ・ API-Net のエイズ動向委員会の 2024 年速報値では新規 HIV 感染者・エイズ患者報告数は 1000 名となり前年より増加したが、治療薬の進歩により 2013 年以降感染報告数は減少傾向にある。また、Xをはじめとした SNS や 9monster などの出会いアプリでも HIV 陽性であることを顔出しで公表する人が増え、『HIV 陽性者交流会』以外でも相談や出会いの機会が増えていることから、今後『HIV 陽性者交流会』の参加者が大きく増えることは難しいと考える。
一方、HIV 陽性者に対しさまざまなプラットフォームの一つとして『HIV 陽性者交流会』を継続実施することは意義のあることと考える。2025 年度についてもフライヤーを製作し、保健所・拠点病院へ「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」開催について改めて周知を図り、新規利用者の開拓につなげていきたい。
- ・ あわせて、全国 HIV 陽性者ピアサポート円卓会議にて作成した全国の HIV 陽性者交流会を紹介したフライヤーについても北海道内の保健所・拠点病院等へ配布したい。
- ・ HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO については 2025 年度も、日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス様から協賛をご了承いただいている。

キルト部門 活動報告

報告:キルト会員 佐々木 一世

●2024 年度活動結果報告

1.キルト作品の制作

・オーダー作品の受け渡し

| | | |
|----------------------|---------|---------|
| 1) 持ち手つき巾着1点・エコバッグ1点 | 4月22日受注 | 5月16日発送 |
| 2) 持ち手つき巾着4点 | 5月18日受注 | 6月27日発送 |
| ご詠歌用マット3点 | 6月8日受注 | 6月27日発送 |

・寄付されたサンプラーキルトの完成

制作進行中

・会員は無理せずに継続していければ良い

完成作品が減少した中でも、個人で自宅制作した作品を出品できた

2.キルト作品の販売収益の維持・増加の検討

- 1) ヤフオク 7作品出品 5作品落札
- 2) オーダー 2件受注 発送済み
- 3) 個人販売 1件
- 4) 出品作品のスタート値つけに工夫
(郵送料値上げに伴い、12月より送料込みでスタートした)

3.NPO 法人エイズ孤児支援、NGO・PLAS を通しての寄付

・5月9日および10月24日に30,000円を寄付する事が出来た

●2024 年度の課題・その他

1.各自の役割分担の見直し

- 1) 一部は見直された 完成作品の説明文は個人に任された
- 2) まだ見直しが必要

2.制作作品のアイデア探し

- 1) パッチワークの本を購入
- 2) 会員の自主的なアイデアで作品制作

◎2025 年度の活動目標

1. キルト作品の制作
 - ・サンプラーキルトの完成
 - ・キルトにこだわらない作品作り(小物等)
 - ・会員は売りのない活動を重視

2. キルト作品の販売収益の維持・増加の検討
 - ・出品作品に工夫が必要
 - ・販売方法を考える

3. NPO 法人エイズ孤児支援、NGO・PLAS を通じての寄付
 - ・収益に応じた寄付

◎2025 年度の課題

1. 各自の役割分担の見直し
 - ・ヤフオク担当者を2名にする
 - ・活動報告書担当の交代

2. 出品作品の見直し

3. 今後のキルト会員の活動を考える

以上

2024年度キルト部門 ヤフオク出品作品

| 出品日／品名／サイズ | 出品画像 | 金額等 | 出品日／品名／サイズ | 出品画像 | 金額等 |
|---|---|------------------------|---|---|------------------------|
| 2024/4/5出品 シャンデリア (109cm × 109cm) |  | 開始 7,000円 落札 7,000円 | 2024/11/29出品 クリスマス柄 テーブルランナーB (40cm × 148cm) |  | 開始 5,000円 不落札 |
| 2024/10/06出品 ドレスデン (115cm × 115cm) |  | 開始 5,000円 落札 5,000円 | 2024/12/27出品 ねじれた糸まき (100cm × 100cm) |  | 開始 6,000円 不落札 |
| 2024/11/01出品 クリスマス柄 テーブルランナーA (39cm × 149cm) |  | 開始 5,000円 落札 5,000円 | 2025/02/28出品 メリーゴーランド (132cm × 105cm) |  | 開始 8,000円 落札 7,425円 |
| 2024/11/13出品 クリスマス タペストリー (91cm × 70cm) |  | 開始 3,500円 落札 3,800円 | オーダー作品 エコバッグ1点 |  | |

持ち手つき巾着5点



ご詠歌用マット3点



講演部門 報告

報告：沼田 栗実

担当者 エイズ出前授業：沼田 HIV のリアルを伝える：秋山

●概要：学生、専門職（病院・企業・行政・介護施設・社会福祉施設・就労移行支援施設などを
含む）、保護者向け講演をおこなう。

●目的：HIV/エイズに関する知識の普及により、HIV 陽性者への理解促進、予防意識の向上を
目指す。

年齢に合わせた性の健康教育を実施し、心身の大切さ、守り方を伝える。

HIV に感染する仕組み、HIV 陽性者の通院・治療・医療費、最新の HIV 治療の常識や
HIV 陽性者の抱えている問題などについて、生の声を伝える。

●経過：

- 1 講演部門に依頼はなく、エイズ出前授業は行っていないが、「HIV のリアルを伝える」で
は、例年、依頼いただいている仙台のコミュニティセンター ZEL から依頼があり、「HIV
陽性者と語ろう」に参加できた。
- 2 世界エイズデー札幌実行委員会が札幌市より委託を受けて実施している「学生向けエイ
ズ・性感染症出張講座」に協力できた。

●結果・効果：

- 1 スタッフの繋がりもあり、道外のコミュニティセンターからお声かけがあり、2024 年度
も参加し、HIV 陽性者のリアルを伝えられる機会を持てた。
- 2 世界エイズデー札幌実行委員会の札幌市受託事業「学生向けエイズ・性感染症出張講座」
として、札幌市内の大学 2 校（札幌保健医療大学、日本医療大学）に、講師として講演を
実施できた。
次年度は、世界エイズデー札幌実行委員会の高橋実行委員長より、この札幌市受託事業を
当会に引き継ぎたいと相談されている。講演依頼も少ないので、スタッフとも相談し、前
向きに検討していく予定である。
- 3 一度しかできなかったが、講演スタッフで集まり、話し合うことができた。今後の講演活
動についてや HIV/エイズの最新情報について、スタッフ間で共有できる時間となった。

●課題：

- 1 毎年のものであるが、講演依頼がない年が続いているため、スタッフのスキル維持を懸念
しており、アシスタントを含め、講演経験を重ねるのが難しい環境でもあるため、今後も
さまざまなテーマ、さまざまな講師で、スタッフのスキルアップにつながるミニ内部勉強
会を開催していきたい。
- 2 講演の質を高めるため、会の中で事前に徹底したリハーサルができるようスケジュールを
調整して行く必要がある。
- 3 スタッフ間でコミュニケーションを綿密に取れるよう、2025 年度も年に 1~3 回くらい
の頻度で、話し合いの場を設け、情報共有をして行く。
- 4 平日に活動できる講演スタッフの獲得と継続的なスタッフ育成を引き続き行って行く。
- 5 講演先の依頼条件の検討（随時）と講演部門の HP の内容改訂を検討する。また、現在、
HP から簡単にアクセスする方法がないため、外部から講演活動に対して、Google フォ
ームなどを使用しながら、アクセスしやすい環境を作っていく。
- 6 2025 年度は、世界エイズデー札幌実行委員会とも協力して、講演活動の幅を広げられる
ように調整している。

※2024 年度の講演部門実績

- HIV のリアルを伝える

| 実施日 | 主催 | 講演内容等 | 講師 |
|-----------------|-------------------------------|--------------|------|
| 2024 年 10 月 6 日 | コミュニティセンター ZEL (宮城県仙台市) | ※HIV 陽性者と語ろう | 秋山 満 |

- エイズ出前授業

| 実施日 | 学校名 | 講演内容等 | 講師等 |
|-----------------|----------|--|---------------|
| 2024 年 6 月 12 日 | 札幌保健医療大学 | 世界エイズデー札幌実行委員会 札幌市受託事業「学生向けエイズ・性感染症出張講座」として | 沼田 栗実 |
| 2025 年 1 月 16 日 | 日本医療大学 | 世界エイズデー札幌実行委員会 札幌市受託事業「学生向けエイズ・性感染症出張講座」として | 沼田 栗実 秋山 満 |

アウトリーチ報告

担当者：沼田 栗実

● 目的：

HIV/エイズに関する問題について、イベントなどを通じ、「考える」「知る」きっかけを提供する。

● 経過：

- ① 2024年度は、定例で参加している北海道医療大学大学祭「九十九祭」に引き続き参加することができ、ブース出展とステージ発表ができた。また、さっぽろレインボープライドにも参加でき、ブース出展とステージ PR ができた。各イベントの中で、検査についての参加型調査も実施し、ブースに立ち寄ってくださった方々と HIV 検査について考える時間となった。
- ② ブース出展では、オーガニックハードローション、Findom（指用のコンドーム）を企業様よりご提供いただき、配布した。また、トリップスキン（オーラルセックス用コンドーム）も購入し、ブースで配布した。コンドームもサイズ別、素材別など、種類があることを情報発信し、自分にあったコンドームや方法を考えるきっかけづくりの時間を持てた。
- ③ イベントでのブース出展だけではなく、ラジオを通じて、HIV/エイズについての正しい知識など情報を提供・発信する事ができた。
- ④ 前年度に引き続き、さぽーとほっと基金パンフレットラック配架の他、Jazz ライブの受付にて広報資材を配布し、情報を提供・発信する事ができた。
- ⑤ 全国のコミュニティセンターとのつながりから各地の LGBT パレードや日本エイズ学会においても広報資材の配架を実施できた。
- ⑥ 札幌市主催「LGBT のための休日即日 HIV 検査」の広報と相談員派遣を行うことができた。
- ⑦ 2024 度も引き続き、厚労省科研費事業 MSM ALL JAPAN の取り組みに参加でき、一社）にじいろほっかいどうと共催で、講演会「みんなで考えよう LGBT の老後」と「ともだちづくり× HIV/AIDS UPDATE！」の2つ企画を運営することができた。
- ⑧ 世界エイズデー札幌実行委員会、一社）にじいろほっかいどう、さっぽろ5リボンズ、WAVE さっぽろ、さっぽろレインボープライド実行委員会、Qwe' re、にじいろスマイル、SOGI mamii' s 等、北海道内外問わず他団体と共に活動できた。

● 結果・効果：実施イベント等

- ① イベントについては以下の通り、参加・協力した。

| 日付 | 参加イベント・参加スタッフ人数等 |
|-------|---|
| 5月21日 | にじいろスマイルラジオ@三角山放送局 スタッフ参加 1名 |
| 22日 | 6/1~6/7の検査普及週間に合わせ HIVの予防や検査についてのおはなし。 |
| 6月15日 | 北海道医療大学大学祭「九十九祭」 ブース出展/ステージ発表 |
| 16日 | スタッフ参加 3名 |
| 8月31日 | Groovin' herd Jazz Orchestra LIVE 2024 vol.2 広報リーフレット配架 100部 |
| 9月10日 | にじいろスマイルラジオ@三角山放送局 スタッフ参加 1名 |
| 24日 | 9/29 LGBTのためのエイズ検査の広報。 |

| | |
|--------------|--|
| 9月14日 15日 | さっぽろレインボープライド ブース出展 スタッフ参加 5名（当日まで準備も含む） |
| 9月14日 | さっぽろレインボープライド関連イベント「よりみち UPDATE」 （一社）にじいろほっかいどうと共催 スタッフ参加 3名 |
| 9月16日 | さっぽろレインボープライド関連イベント「みんなで考えよう LGBT の老後」 （一社）にじいろほっかいどうと共催 スタッフ参加 3名 |
| 9月29日 | 札幌市 LGBT のためのエイズ検査会協力（広報・相談員派遣） スタッフ 2名（相談員 1名 準備手伝い 1名） |
| 12月3日 | 高橋愛紀が贈る SOGI-Mamii's ハピネス♥Umbrella☂@FM ドラマシティ スタッフ参加 2名 世界エイズデーについてのお話。 |
| 1月25日 | ともだちづくり×HIV AIDS 「苫小牧 UPDATE！」@苫小牧市民活動センター （一社）にじいろほっかいどうと共催 スタッフ参加 3名 |
| 3月16日 | ともだちづくり×HIV AIDS 「函館 UPDATE！」@はこにじ （一社）にじいろほっかいどうと共催 スタッフ参加 2名 |

- ② イベント参加・ラジオでの発信というアウトリーチだけではなく、ゲイナイトや Jazz ライブ、学会や全国の LGBT パレードブース等で資料の配架により情報発信ができた。
また、イベント時には、広報 T シャツを着用し、ブース対応等を行うことで、情報発信することができた。
- ③ 厚生労働省研究班（MSM ALL JAPAN）の北海道での取り組みでは、「よりみち UPDATE」「『みんなで考えよう LGBT の老後』講演会」「ともだちづくり×HIV AIDS 苫小牧 UPDATE！」「ともだちづくり×HIV AIDS 函館 UPDATE！」の三つのイベントを一社）にじいろほっかいどうと共催で開催することができた。ターゲットを絞った啓発につながった他、札幌市以外でも啓発活動ができた。
- ④ 2024 年度全体を通して、事務局以外のスタッフやヘルプスタッフと一緒に活動ができた。

● 課題：

2024 年度は、例年ブース出展してきたイベントも復活し、北海道医療大学大学祭「九十九祭」と、「さっぽろレインボープライド」のブース出展ができた。主なイベントでの啓発は、この 2 つに限られているので、他に参加できるイベントがないか、アウトリーチの機会を増やしていくことも今後の課題と考えている。

例年、世界エイズデーイベントの広報としてラジオ出演し、イベントの広報だけではなく、HIV の情報を発信してきたが、2024 年度においても、12 月 1 日にエイズデーに限らず、6 月の検査普及週間や 9 月の LGBT のための HIV 検査会に合わせて情報発信ができ、1 年通じて、情報を発信していくことができた。ラジオ出演を調整し、分かりやすく伝えてくれたスタッフに、この場を借りて感謝いたします。今後もラジオ等のメディア配信は引き続き行い、また、オンライン配信（SNS や Youtube 等）等、新しい形でのアウトリーチ活動を検討していく必要がある。そのために、スタッフ増員が急務である。

その他、Jazz ライブや全国の LGBT パレード、エイズ学会等での資料配布ができ、北海道のみならず広く市民向けに啓発活動ができたと考えている。引き続き、資料配布については、より手に取ってもらえるよう、ポスター掲示については協力施設を増やせるよう、活動していく課題がある。

2024 年度も引き続き、一社）にじいろほっかいどうと協力でき、研究班の事業にも取り組めた。

この事業は、一部業務委託として、研究班からスタッフに対し謝礼金をいただいている。前年度に引き続き、研究班の事業に協力いただいたスタッフのみに、交通費以外に謝礼金の一部から手当をお支払いしているため、平等性に欠けないよう、手当基準を見直し、安定的に手当を支払えるようにしていくことが課題であると考え。どのように資金を捻出していくか、アウトリーチ担当と事務局を中心に検討していきたい。

2025年度も、すでに九十九祭への参加が決定している他、さっぽろレインボープライドの開催が決定し、出店できるよう調整している。また、(一社)にじいろほっかいどうとの共催で講演会の実施も計画し、企画を進めている。他団体とも協力しながら HIV/AIDS について基礎的な知識だけでなく、最新情報を含め HIV/AIDS について理解を深められるよう、スタッフ全員で色々な形で情報発信をしていきたい。

会計 部門報告

報告：本庄 真美子

担当者：堂前智代 補佐：本庄真美子

● 概要：

当会の収入、支出の管理をおこなう

● 目的：

- 当会の事業が円滑に進むよう資金面の状況について把握し、提言する
- NPO 法人としての会計の透明性を確保する

● 経過：

- 月1回の運営会議での精算業務を目標にしてきたが、担当者の事情で3カ月に1回程度の精算作業が限界であると感じた。
- キルト部門の担当者と連携し、スムーズに決算・監査が行われた

● 課題：

- 決算について

会計作業の入力は会計担当者が行っているが、入力科目の詳細などは、事業に携わっている事務局長が最終チェックを行い修正している。各々が入力作業を行うことで、数字が合わないなど決算時の確認不足が数年続いていると感じる。どの課程で起きたミスかというのも曖昧である。数百円単位の誤差であるが、来年度は連携してもう一手間かけた確認作業が必要と考えている。

事務局報告

報告:秋山 満

部門概要: 事務局運営

(事務局スタッフ:代表…沼田/事務局長…秋山/会計…堂前・本庄)

- 目的: 月1回の運営会議、各事業の進捗管理、人材育成、事務所運営、管理など、会のスムーズな運営のために活動する。

<事務局の仕事>

- 1) 即決断が求められたときの決定機関
- 2) 運営会議の準備
- 3) 総会準備
- 4) 会計、資金繰り
- 5) 助成金の申請とその手配
- 6) メール・リングリストの管理
- 7) メールのチェック
- 8) NPO法人関連手続き
- 9) 全般的なコーディネート
- 10) 対外的な交渉など(マンション関連他)
- 11) 記録・写真・スクラップの整理・管理

- 経過:

- ① 月1回の運営会議は継続的に実施
- ② 会報は2回発行した
- ③ 事務局会議は適宜開催
- ④ 他団体、企業からの依頼に対応

- 結果・効果:

- ① 運営会議、事務局会議の実施
- ② 会報の発行 2024年6月・8月の2回発行
- ③ 助成金獲得 公益財団法人エイズ予防財団様よりエイズ電話相談事業に380,000円の助成

- 課題:

2024年度も、各々の生業がある中でも、活動に積極的に参加いただいたスタッフに、この場を借りて、お礼申し上げます。

- ① 事業面

2024年度は、イベント等も少しずつコロナ流行以前に戻りつつある中で、少ない人数で各部事業を実施していたこともあり、事務局活動は省力にならざるを得なかったが、その中でも、前年度に引き続き、札幌市主催「LGBTのためのエイズ検査」の企画提案・広報・相談員派遣を受託でき、検査機会の提供の一助となったと考えています。また、厚生労働省研究班(MSM ALL JAPAN)の活動にも引き続き協力させていただき、(一社)にじいろほっかいどうと共にイベントの企画・運営・班会議・エイズ学会に参加することができました。また、2024年度も様々な団体・企業・行政機関のつながり、活動ができた年になったと感じています。

- ② 資金面

資金面では、2024年度についてはエイズ予防財団からエイズ電話相談に対する助成金を獲得したほか、Sapporo5 リボンスから各団体への分配金があり、大幅な黒字決算となりました。bda オータニックの助成金の精算払いは、2025年度以降となる予定です。

助成金だけではなく、相談員派遣に伴う謝金、キルト販売の収益、会員の皆さまによる会費納入の他、ご寄附もいただき、運営できました。

- ③ 運営面

2024 年度も、短期目標を掲げ、少ない人数ながらも各部事業を実施してきた。スタッフそれぞれが、外部のオンライン研修等に積極的に参加し、研鑽につとめることもできた。市内はもとより、道内、全国の関係機関との連携も芽が出つつあると考えています。

新年度も、引き続き

(1)講演活動、電話相談のさらなる質の向上に注力する。

(2)陽性者交流会事業の継続開催を通じて、ネットワークを広げていく。

(3)次の20年を担う新規スタッフを計画的に育成するために、スタッフ募集と研修をおこなっていく。

(4)会の趣旨や考え方などをしっかり継承していける体制を作る。

(5)賛助会員や寄付者に向けた継続的なフォローや広報を引き続きおこなうのと同時に、助成金の安定的な獲得など資金面の基盤作りをする。

以上について、必要があると考え、まずは、短期目標達成を目指し、全スタッフで取り組んでいきたい。

最後に、新年度も引き続き、より多くのスタッフが、自分にあった関わり方で、活動に参加してほしいと考えている。「イベントに参加する」「事業の担当になる」という形だけではなく、イベントまでの準備や、ブログの更新、動画配信の構想・編集、資料の発送作業等々、細かい活動も多いので、できることをできる範囲で、関わってもらえるよう、事務局もメンバーリスト等を用いて、呼びかけていきたい。正会員に限らず、ヘルプスタッフからも新しい提案(些細なことでも構いません)をたくさんしてほしいと考えているので、やりたいことがあれば相談できる事務局体制を築いていきます。よろしくお願いたします。

2024年度 総括案

代表 沼田 栗実

2024年度は、新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の流行前の状況に少しずつ戻っていることを感じながら、活動してきました。定例の活動だけではなく新しい取り組みもしながら、出来ることを考え、実行してきたと思います。事業ごとに振り返り、総括していきたいと思います。

2024年度は、以下の3つの短期目標を掲げ事業を行ってきました。

- ① HIV/ エイズを取り巻くさまざまな環境や時代を鑑み、活動の内容を精査していく。
- ② スタッフが参加しやすい勉強会を実施し、「HIV/エイズに関する知識」だけでなく、「感じる力」「考える力」「伝える力」などのスキルアップを図る。
- ③ 活動の輪を広げるための会員数の拡大に向けて、アクセスしやすい環境を整備する。

電話相談事業は、毎週火曜日の19時～22時までに行っている当会でも長い歴史のある事業です。

2024年度は、公益財団法人エイズ予防財団の助成を受け、運営することができました。

電話相談の件数だけを見ると354件とコロナ禍以前に戻ったように感じますが、この件数の中には何度もお電話をくださる方も含まれます。何度も何度も電話相談を利用している相談者への対応は、モチベーションの維持が難しくなる時がある中で、諦めることなく対応してくれています。

電話相談の評価は、一概に件数だけを見ることはできませんが、何度も電話相談を利用される方の中には「レッドリボンさっぽろの相談がいい」「ここに電話して、救われている」という声もあります。また電話相談利用者からお礼のメールをいただいたこともあり、相談者の不安解消につながっていると評価しています。心が折れることなく、いつも丁寧に相談対応をしてくれている相談員に感謝しています。

時間がない中で、最新情報や性感染症の情報を含め必要な外部研修に積極的に参加し、相談員それぞれが研鑽を積むことができました。研修で得た情報を生かしながら、これからも言葉選びを慎重に、相談者に寄り添えるようにしていきましょう。

また、札幌市主催の「LGBTのためのエイズ検査会」での当日の相談員派遣を引き続き行っています。札幌市の直営検査では唯一相談員の配置をしている検査事業です。どのような検査でも相談員の役割は重要なものですが、特に即日検査の特性から、判定保留の結果説明時（陰性とも陽性とも確定できない状況）の相談対応は「とても重要なこと」と考えています。そのような場に当会の相談員が協力でき、他団体からも評価いただいていることを嬉しく思います。

そして、前年度に引き続き、札幌市の「LGBTに関する電話相談」の相談員として関わ

っているスタッフがいます。当会のエイズ電話相談とは異なる難しさがありますが、変わらず信頼される対応をしてくれている相談員に感謝いたします。

2024 年度も相談員 2 名体制で運営してきました。相談員が仕事により、シフトに入れない場合もありましたが、以前相談員をしていたスタッフの協力も得ながら、2 名体制を維持しながら運営することができましたが、相談員の増員も課題です。相談員の増員を考えると育成研修などの労力もかかりますが、できる範囲で相談員増員についても考えていきましょう。

講演事業は、当会への講演依頼はなく充電期間な一年となりましたが世界エイズデー札幌実行委員会の一員として、札幌市の「学生向けエイズ・性感染症出張講座」に対応でき、講演の機会を持つことができました。講演先が医療系大学生ということのを考慮し、針刺し事故感染リスクの話盛り込むなど、対象の学生層に合わせた内容に少しずつ調整し実施できたと思います。これは短期目標①の達成につながっていますね。世界エイズデー札幌実行委員会と調整し、講演先の調整もお疲れ様でした。

講演は、平日の日中の依頼がほとんどです。平日に動ける講演スタッフの確保が継続的な課題ではありますが、講演依頼が来たら対応できるよう、講演内容のアップデートも含め準備していきましょう。

2024 年度も医療福祉サービス事業者からの“HIV 陽性者のリアルを伝える”の講演依頼はありませんでしたが、担当スタッフのつながりから道外のコミュニティセンターにおいて、引き続き陽性者の生の声を伝えています。直接的な講演依頼ではありませんが、当会のスタッフ宛に札幌市の LGBT フレンドリー指標制度登録企業への講演依頼があり、札幌市内の調理師専門学校の教職員を対象に、LGBT について理解を深める勉強会を実施しました。HIV 陽性者の視点を踏まえた内容も盛り込み、広い視点での勉強会になったと思います。身近なところから伝えていくことが、当会が目指す「HIV 陽性者・AIDS 患者との共生を目指し、差別・偏見のない社会を実現」の第一歩と考えます。これからも大切に活動していきましょう。

2025 年度は、世界エイズデー札幌実行委員会とも協力しながら運営していけるようスタッフで調整しています。今後の講演活動に期待しています。

アウトリーチ事業は、当会の事業の中で、一番多くのスタッフが関われる事業です。2024 年度も北海道医療大学大学祭「九十九祭」と「さっぽろレインボープライド」でブース出展することができました。

今回のブースでは「HIV 検査に関する参加型アンケートの実施」という新しい取り組みもできました。参加者とスタッフがコミュニケーションを取りながら、HIV 検査について考えるきっかけづくりになったと思います。また、HIV 検査について行政や関係機関に提言していくためにも必要な結果となったと思います。これからも新しい取り組みをメンバーみんなで考えて、実施できるといいですね。

また、イベントにブース出展参加するだけでなく、2024 年度も引き続き、一般社団法人にしじろほっかいどう（以下、にしじろほっかいどう）と共催で「みんなで考えよう LGBT の老後」講演会と「ともだち作り×HIV 学習会『UPDATE!!』」（以下、「UPDATE!!」）の勉強会イベントを開催することができましたね。「UPDATE!!」で

は、さっぽろレインボープライドに合わせ札幌市内での「よりみち UPDATE!!」の他、苫小牧市、函館市と札幌市以外でも開催できました。「U=U」や「PrEP」についても触れ、参加者から「知識が10年前で止まっていた」「最近 PrEP という言葉をよく目にするけど、簡単に薬を飲むだけじゃないんだ」などの声も聴け、参加者への正しい知識の普及・知識のアップデートにつながった会になったと思います。これらは、にじいろほっかいどうと企画・調整し、当日運営・協力してくれたスタッフがいなければできなかったことです。メンバーとにじいろほっかいどうの皆さまに感謝し、これからも協力して北海道内で啓発活動を行っていきましょう。

これら以外にも、全国の LGBT パレード等で当会紹介リーフレット等の配布を行うことができたほか、ラジオでの情報発信など様々なツールを利用しながら、HIV/エイズについての情報を発信できたと思います。

短期目標②の「勉強会の実施」はできませんでしたが、アウトリーチ活動の中で、参加者とのコミュニケーションを取ることが『感じる力』『考える力』『伝える力』などのスキルアップにつながっていますね。

アウトリーチ事業は、スタッフの「やりたい!」「発信したい!」を実現できる事業です。これからもより多くのスタッフのモチベーションをくみ取り、会のみんで情報発信していきましょう。

ななかまど PJ は、北海道に暮らす HIV 陽性者が「今よりもっと元気になるために必要としていること」を共に考え、形にしていくことを目的に、面談ルーム「くれば一緒に」と陽性者交流会を実施しています。くれば一緒にの問い合わせ・利用はありませんでしたが、陽性者交流会は、引き続き運営することができましたね。

2024 年度は、陽性者交流会がスタートしてから 10 周年の年でした。交流会当日に携わるスタッフが 1 名体制になりましたが、広報フライヤーの制作もでき、拠点病院や保健所への情報提供ができましたね。また、全国の陽性者交流会を行っている団体や担当者とも意見交換を積極的に行い、他団体とも協力し、今後の活動の在り方についても考えながら、運営してくれています。

そんな中でも、参加申込の定員割れなどで中止せざるを得ないこともありましたが、スタッフが適宜、開催と中止の判断を検討し適切に動いてくれたことに感謝いたします。

陽性者交流会は、自分が HIV 陽性者であることを気にせず話せる場であり、ニーズのある事業です。道内の陽性者の手に届く事業を今後もしていきましょう。

交流会スタッフも増員が課題です。陽性者スタッフの募集・育成もできるところから検討していきましょう。スタッフ 1 名の運営で内輪の会にならないよう、陽性者スタッフだけが負担にならないよう、ななかまど PJ メンバー全員で、安定した交流会が実施できるよう意識しながら、これからも運営していきましょう。

キルト部門は、毎週火曜日に定例で活動してくださっています。2024 年度も、毎年行っている特定非営利活動法人 エイズ孤児支援 NGO・PLAS 様へのキルト部門からの寄附もできましたね。そして、当会のキルトを手にした方から、好評で再度制作の依頼もあり、丁寧に活動をしてくださっているのも感じています。

キルト部門も、会員が少しずつ減ってきています。担当者の負担や、今後の不安の声

も、事務局スタッフが聴いています。事務局もキルト会員の皆さんが、これからも楽しく安心して活動できるようサポートしていきましょう。

キルト制作は、誰でも簡単にできる活動ではありません。一針一針丁寧に、愛情をこめて、定期的にキルト制作してくださっているキルト会員の皆さまに大変感謝しています。

全体を通して、2024年度もたくさんの活動してきました。前述した事業の他にも、台湾レッドリボン基金会スタッフが来訪し情報交換や交流もできましたし、Futures Japanの調査カンファレンス会議や企業からのHIV陽性当事者インタビューなどにも参加しています。変わらない主要スタッフ不足により、会員・ヘルプスタッフの皆さんに対して会の中での勉強会の実施はできませんでしたが、スタッフそれぞれが各学会や勉強会に参加でき自己研鑽に努めています。例年より活発な活動になっており、様々な団体とのつながりが、スタッフの経験になり、当会の活動の幅を広げています。これからも、このつながりを大切に、活動していきましょう。

札幌市主催のLGBTのためのエイズ検査の広報や当日の相談員派遣、厚生労働省の研究班の事業への協力など、継続できている事業もあります。ここには記載できなかった事業もたくさんあります。新しくヘルプスタッフ登録してくださった方の活躍もありました。これまでの活動をつないでくださってきたメンバーが集まる機会もあり、たくさんの人に支えられて活動できた（活動してきた）ことを実感する一年でした。当会の活動を支えてくださっているすべての人たちに大変感謝いたします。

また、2024年度も助成金だけではなく、資金面で継続的に応援して下さる賛助会員の皆様、たくさんの寄附をいただいた個人の皆様、啓発資材のサンプルを提供いただいた企業様等、たくさんの方々を支えられ、事業を全うすることができました。本当にありがとうございました。この場を借りて、心よりお礼申し上げます。

2025年度も、アウトリーチ事業は「九十九祭」と「さっぽろレインボープライド」でのブース出展を予定しています。講演事業も世界エイズデー札幌実行委員会と協力していきながら活動できるようスタッフが調整しています。ななかまどプロジェクトは、陽性者交流会も開催要件を少し見直しながら事業をスタートさせています。研究班の取り組みでも、にじいろほっかいどうと協力し、「UPDATE!!」の他、研修会・講演会の企画も動いています。短期目標と中期目標の達成も意識しながら、2025年度もメンバー一同、同じ方向を向いて活動していきましょう。

定例ではございますが、2025年度も事務局メンバーだけでは、会の活動はできません。会のみんなで事業を進めていきたいと思っています。すでに進めているものもありますが、スタッフの「やりたい！」も拾い上げながら、2025年度も活動していきたいと思っています。自分の得意分野ややりたいことを、ぜひ事務局に教えてください。各々が「ワクワクすること」「心が動くこと」を考えながら、自分が出来ることから始め、みんなで活動の輪を少しずつ広げて行きましょう。

2025年度活動計算書 予算案

(単位:円)

| 勘定科目 | 2023年度実績 | 2024年度予算案 | 前年比 | 備考 |
|----------------|------------------|----------------|--------------|------------------------------------|
| I 経常収益 | | | | |
| 1. 受取会費 | | | | |
| 会費区分 | | | | |
| 正会員費 | 54,000 | 36,000 | 66.7% | |
| 賛助会員費 | 96,000 | 70,000 | 72.9% | |
| キルト会員費 | 17,500 | 15,000 | 85.7% | 2025年3月現在キルト会員6名 |
| 受取会費計 | 167,500 | 121,000 | 72.2% | |
| 2. 受取寄付金 | 308,641 | 193,000 | 62.5% | |
| 3. 受取助成金 | | | | |
| エイズ予防財団 | 380,000 | 0 | 0.0% | 2024年度 電話相談事業に対する助成 |
| さぼーとほっと基金 | 0 | 8,000 | | |
| イオン黄色いレシート | 50,800 | 40,700 | 80.1% | 2025年寄贈分40,700円 |
| その他助成金 | 0 | 0 | | |
| 受取助成金計 | 430,800 | 48,700 | 11.3% | |
| 4. 事業収益 | | | | |
| 陽性者支援事業(ななかまど) | 16,500 | 10,000 | 60.6% | 陽性者交流会 参加費@500 5回 延べ20人で試算 |
| 電話相談事業 | 180,580 | 160,000 | 88.6% | LGBTほっとライン |
| キルト事業 | 45,810 | 33,000 | 72.0% | ヤフオク!での販売 |
| 普及啓発事業 | 314,970 | 250,000 | 79.4% | MSM検査会・MSM ALL JAPAN事業 |
| 講演事業 | 0 | 0 | | |
| 事業収益計 | 557,860 | 453,000 | 81.2% | |
| 5. その他収益 | | | | |
| 受取利息 | 304 | 260 | 85.5% | 利息 |
| 雑収入 | | | | |
| その他収益計 | 304 | 260 | 85.5% | |
| 経常収益計 | 1,465,105 | 815,960 | 55.7% | |
| II 経常費用 | | | | |
| 1. 事業費 | | | | |
| (1) 人件費 | | | | |
| 給与手当 | 81,400 | 80,000 | 98.3% | LGBTほっとライン・アウトリーチ手当 |
| 人件費計 | 81,400 | 80,000 | 98.3% | |
| (2) その他経費 | | | | |
| 旅費交通費 | 222,120 | 40,000 | 18.0% | LGBTほっとライン |
| 通信費 | 161,156 | 180,000 | 111.7% | フリーダイヤル料・インターネット接続料 |
| 印刷製本費 | 10,200 | 13,000 | 127.5% | 陽性者交流会フライヤー・カード資材 |
| 材料費 | 25,218 | 20,000 | 79.3% | キルト材料費 |
| 会議費 | 13,735 | 6,000 | 43.7% | 交流会会場費 |
| 荷造発送費 | 79,642 | 6,000 | 7.5% | キルト販売発送費・広報資材発送費 |
| 消耗品費 | 51,920 | 23,000 | 44.3% | イオン黄色いレシート贈呈分購入・アウトリーチ消耗品など |
| 業務委託料 | 30,000 | 30,000 | 100.0% | MSM検査会フライヤーデザイン委託 |
| 広告宣伝費 | 62,000 | 62,000 | 100.0% | MSM検査会バナー広告 |
| 諸謝金 | 0 | 0 | | |
| 複写費 | 390 | 0 | 0.0% | コンビニでのコピー代 |
| 支払手数料 | 13,665 | 11,440 | 83.7% | キルト部門ヤフオク!各種手数料 |
| 交際費 | 0 | 0 | | |
| 保険料 | 0 | 4,000 | | ボランティア保険 |
| 租税公課 | 2,340 | 2,500 | 106.8% | 登記簿取得など |
| 雑費 | 80,000 | 50,000 | 62.5% | キルト PLASさんへの寄付・さっぽろレインボープライドブース出展料 |
| その他経費計 | 752,386 | 447,940 | 59.5% | |
| 事業費計 | 833,786 | 527,940 | 63.3% | |
| 2. 管理費 | | | | |
| (1) 人件費 | | | | |
| 給与手当 | 0 | 0 | | |
| 人件費計 | 0 | 0 | | |
| (2) その他経費 | | | | |
| 地代家賃 | 180,000 | 180,000 | 100.0% | 家賃 |
| 水道光熱費 | 107,096 | 107,920 | 100.8% | 水道・電気(ガス・灯油は使用していない) |
| 保険料 | 10,580 | 0 | 0.0% | 今後は事業費に移行 |
| 租税公課 | 0 | 0 | | 今後は事業費に移行 |
| 雑費 | 0 | 0 | | |
| その他経費計 | 297,676 | 287,920 | 96.7% | |
| 管理費計 | 297,676 | 287,920 | 96.7% | |
| 経常費用計 | 1,131,462 | 815,860 | 72.1% | |
| 当期正味財産増減額 | 333,643 | 100 | 0.0% | |
| 前期繰越正味財産額 | 680,520 | 1,014,163 | 149.0% | |
| 次期繰越正味財産額 | 1,014,163 | 1,014,263 | 100.0% | |

2025年度 レッドリボンさっぽろ 事業別予算案

| 科 目 | 陽性者支援事業(ななかまど) | | | 電話相談事業 | | | キルト事業 | | | 普及啓発事業 | | | 講演事業 | | | 事業部門計 | | | 管理部門 | | | 合計 | | | |
|----------------|----------------|---------------|-----------------|----------------|----------------|---------------|----------------|---------------|--------------|----------------|----------------|--------------|------------|--------------|-----|------------------|----------------|--------------|----------------|----------------|---------------|------------------|----------------|--------------|--|
| | 2024 実績 | 2025 予算 | 前年比 | 2024 実績 | 2025 予算 | 前年比 | 2024 実績 | 2025 予算 | 前年比 | 2024 実績 | 2025 予算 | 前年比 | 2024 実績 | 2025 予算 | 前年比 | 2024 実績 | 2025 予算 | 前年比 | 2024 実績 | 2025 予算 | 前年比 | 2024 実績 | 2025 予算 | 前年比 | |
| I 経常収益 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. 受取会費 | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 17,500 | 15,000 | 85.7% | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 17,500 | 15,000 | 85.7% | 150,000 | 106,000 | 70.7% | 167,500 | 121,000 | 72.2% | |
| 正会員費 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | | 54,000 | 36,000 | 66.7% | 54,000 | 36,000 | 66.7% | |
| 賛助会員費 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | | 96,000 | 70,000 | 72.9% | 96,000 | 70,000 | 72.9% | |
| キルト会員費 | | | | | | | 17,500 | 15,000 | 85.7% | | | | | | | 17,500 | 15,000 | 85.7% | | | | 17,500 | 15,000 | 85.7% | |
| 2. 受取寄付金 | | | | | | | 2,400 | 2,000 | 83.3% | 22,501 | 11,000 | 48.9% | | | | 24,901 | 13,000 | 52.2% | 283,740 | 180,000 | 63.4% | 308,641 | 193,000 | 62.5% | |
| 3. 受取助成金等 | 0 | 0 | | 380,000 | 0 | 0.0% | 25,072 | 18,950 | 75.6% | 25,728 | 21,750 | 84.5% | 0 | 8,000 | | 430,800 | 48,700 | 11.3% | 0 | 0 | | 430,800 | 48,700 | 11.3% | |
| エイズ予防財団 | | | | 380,000 | | 0.0% | | | | | | | | | | 380,000 | 0 | 0.0% | | | | 380,000 | 0 | 0.0% | |
| さぼーとほっと基金 | | | | 0 | | | | | | | | | 8,000 | | | 0 | 8,000 | | | | | 0 | 8,000 | | |
| イオン黄色いレシート | | | | | | | 25,072 | 18,950 | 75.6% | 25,728 | 21,750 | 84.5% | | | | 50,800 | 40,700 | 80.1% | 0 | 0 | | 50,800 | 40,700 | 80.1% | |
| その他助成金 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | | | | | 0 | 0 | | |
| 4. 事業収益 | 16,500 | 10,000 | 60.6% | 180,580 | 160,000 | 88.6% | 45,810 | 33,000 | 72.0% | 314,970 | 250,000 | 79.4% | | | | 557,860 | 453,000 | 81.2% | | | | 557,860 | 453,000 | 81.2% | |
| 5. その他収益 | | | | | | | 6 | 10 | 166.7% | | | | | | | 6 | 10 | 166.7% | 298 | 250 | 83.9% | 304 | 260 | 85.5% | |
| 経常収益計 | 16,500 | 10,000 | 60.6% | 560,580 | 160,000 | 28.5% | 90,788 | 68,960 | 76.0% | 363,199 | 282,750 | 77.8% | 0 | 8,000 | | 1,031,067 | 529,710 | 51.4% | 434,038 | 286,250 | 66.0% | 1,465,105 | 815,960 | 55.7% | |
| II 経常費用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (1) 人件費 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 役員報酬 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | | | | | 0 | 0 | | |
| 給料手当 | | | | 80,400 | 80,000 | 99.5% | | | | 1,000 | | 0.0% | | | | 81,400 | 80,000 | 98.3% | | | | 81,400 | 80,000 | 98.3% | |
| 法定福利費 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | | | | | 0 | 0 | | |
| 人件費計 | 0 | 0 | | 80,400 | 80,000 | 99.5% | 0 | 0 | | 1,000 | 0 | 0.0% | 0 | 0 | | 81,400 | 80,000 | 98.3% | 0 | 0 | | 81,400 | 80,000 | 98.3% | |
| (2) その他経費 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 旅費交通費 | | | | 71,060 | 30,000 | 42.2% | | | | 151,060 | 10,000 | 6.6% | | | | 222,120 | 40,000 | 18.0% | | | | 222,120 | 40,000 | 18.0% | |
| 通信費 | | | | 161,156 | 100,000 | 62.1% | | | | 0 | 80,000 | | | | | 161,156 | 180,000 | 111.7% | | | | 161,156 | 180,000 | 111.7% | |
| 印刷製本費 | 10,200 | 5,000 | 49.0% | | | | | | | | | | | 8,000 | | 10,200 | 13,000 | 127.5% | | | | 10,200 | 13,000 | 127.5% | |
| 材料費 | | | | | | | 25,218 | 20,000 | 79.3% | | | | | | | 25,218 | 20,000 | 79.3% | | | | 25,218 | 20,000 | 79.3% | |
| 会議費 | 4,295 | 6,000 | 139.7% | 9,440 | 0 | 0.0% | | | | | | | | | | 13,735 | 6,000 | 43.7% | | | | 13,735 | 6,000 | 43.7% | |
| 荷造発送費 | | | | 72,140 | 0 | 0.0% | 5,940 | 6,000 | 101.0% | 1,562 | | 0.0% | | | | 79,642 | 6,000 | 7.5% | | | | 79,642 | 6,000 | 7.5% | |
| 事務消耗品費 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | | | | | 0 | 0 | | |
| 消耗品費 | 1,326 | 1,000 | 75.4% | 24,480 | | 0.0% | 4,347 | 2,000 | 46.0% | 21,767 | 20,000 | 91.9% | | | | 51,920 | 23,000 | 44.3% | | | | 51,920 | 23,000 | 44.3% | |
| 業務委託料 | | | | | | | | | | 30,000 | 30,000 | 100.0% | | | | 30,000 | 30,000 | 100.0% | | | | 30,000 | 30,000 | 100.0% | |
| 広告宣伝費 | | | | | | | | | | 62,000 | 62,000 | 100.0% | | | | 62,000 | 62,000 | 100.0% | | | | 62,000 | 62,000 | 100.0% | |
| 諸謝金 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | | | | | 0 | 0 | | |
| 複写費 | | | | 140 | | 0.0% | | | | 250 | | 0.0% | | | | 390 | 0 | 0.0% | | | | 390 | 0 | 0.0% | |
| 研修費 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | | | | | 0 | 0 | | |
| 水道光熱費 | 0 | | | 0 | | | 0 | | | 0 | | | 0 | | | 0 | 0 | | 107,096 | 107,920 | 100.8% | 107,096 | 107,920 | 100.8% | |
| 電気 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | | 66,176 | 67,000 | 101.2% | 66,176 | 67,000 | 101.2% | |
| ガス | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | | | | | 0 | 0 | | |
| 水道 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | | 40,920 | 40,920 | 100.0% | 40,920 | 40,920 | 100.0% | |
| 地代家賃 | | | | 75,000 | | 0.0% | | | | | | | | | | 75,000 | 0 | 0.0% | 105,000 | 180,000 | 171.4% | 180,000 | 180,000 | 100.0% | |
| 支払手数料 | 440 | 440 | 100.0% | 440 | | 0.0% | 11,549 | 11,000 | 95.2% | 1,236 | | 0.0% | | | | 13,665 | 11,440 | 83.7% | | | | 13,665 | 11,440 | 83.7% | |
| 交際費 | | | | | | | | | | 0 | | | | | | 0 | 0 | | | | | 0 | 0 | | |
| 保険料 | | | | | | | | 3,000 | | | 1,000 | | | | | 0 | 4,000 | | 10,580 | | 0.0% | 10,580 | 4,000 | 37.8% | |
| 租税公課 | | | | | | | | | | 2,340 | 2,500 | 106.8% | | | | 2,340 | 2,500 | 106.8% | 0 | | | 2,340 | 2,500 | 106.8% | |
| 雑費 | | | | | | | 60,000 | 30,000 | 50.0% | 20,000 | 20,000 | 100.0% | | | | 80,000 | 50,000 | 62.5% | | | | 80,000 | 50,000 | 62.5% | |
| その他経費計 | 16,261 | 12,440 | 76.5% | 413,856 | 130,000 | 31.4% | 107,054 | 72,000 | 67.3% | 290,215 | 225,500 | 77.7% | 0 | 8,000 | | 827,386 | 447,940 | 54.1% | 222,676 | 287,920 | 129.3% | 1,050,062 | 735,860 | 70.1% | |
| 経常費用計 | 16,261 | 12,440 | 76.5% | 494,256 | 210,000 | 42.5% | 107,054 | 72,000 | 67.3% | 291,215 | 225,500 | 77.4% | 0 | 8,000 | | 908,786 | 527,940 | 58.1% | 222,676 | 287,920 | 129.3% | 1,131,462 | 815,860 | 72.1% | |
| 当期経常増減額 | 239 | -2,440 | -1020.9% | 66,324 | -50,000 | -75.4% | -16,266 | -3,040 | 18.7% | 71,984 | 57,250 | 79.5% | 0 | 0 | | 122,281 | 1,770 | 1.4% | 211,362 | -1,670 | -0.8% | 333,643 | 100 | 0.0% | |

2025年度 人事案

【理事会】

理事長：沼田 栗実

理事：富田 美奈子 ・ 宮内 典子 ・ 本庄 真美子 ・ 秋山 満

監事：伊藤 雅子 ・ 長瀬 直子

【事務局】

代表：沼田 栗実(留任)

事務局長：秋山 満(留任)

会計：堂前 智代(留任) ・ 本庄 真美子(留任)

事務局員：沼田 栗実、秋山 満、本庄 真美子、堂前 智代、

【各部門担当者】

キルト：伊藤 雅子(留任)

電話相談：本庄 真美子(留任)

講演：沼田 栗実(留任)

ななかまど Project：秋山 満(留任)

アウトリーチ：沼田 栗実(留任)

RRS 中期目標・2025年度短期目標の検討

■ RRS 中期目標（5年先を見据えた目標）

2018年度中期目標の設定に関しては様々な提案があり、運営会議で、

- ① 事業で必要とされるもの、②社会的に必要とされるもの、③運営として必要なものに絞り、検討の結果、5年先を見据え、2018年度に設定した目標を2021年度に改定し以下のように設定した。引き続き、5年先を見据えた目標であるため、2025年度も継続したい。

2018年度に改訂し、2021年度に作成したものを2025年度も継続

- ① HIV陽性者の現在と老後を見据え、医療福祉サービス事業者への情報提供をしていく
② 検査率向上を目標に、年間5,000人に対してHIV/AIDSの情報を伝えていく
③ 「レッドリボンさっぽろ」の目指す社会を実現するために、認定NPO法人を取得する。

■ 2024年度短期目標達成の評価と2025年度の短期目標

まず、以下のように提案をした2024年度の短期目標（中期目標の①～③に対応している）の達成度を、事務局で次のように評価した。全体的に目標達成に至らなかったが、目標達成を目指し活動してきたと評価している。

- ① HIV/エイズを取り巻くさまざまな環境や時代を鑑み、活動の内容を精査していく。

（達成度：★★☆☆☆）

→HIV感染症の治療は大きく進歩し、HIV感染症は慢性疾患の位置づけとなり、時代とともにHIV/エイズを取り巻く環境は変化しているが、当会は1993年の開設当初から大切にしている活動が多く、この令和時代に本当に必要な活動を実施できているのか、また伝える内容は時代に合っているのかなど検討するため、この目標に設定した。

活動の中で「新しい予防方法について」や「検査の種類について」など新しい情報を伝えてきたことは評価するが、実際の活動内容の精査はまだ必要と考える。また、活動の内容だけではなく、手当基準なども含め精査が必要と考えている。

- ② スタッフが参加しやすい勉強会を実施し、「HIV/エイズに関する知識」だけではなく、「感じる力」「考える力」「伝える力」などのスキルアップを図る。（2022年度から改定し継続）

（達成度：★★☆☆☆）

→2023年度の評価を鑑み、2024年度も継続目標としたが、スタッフ向けの勉強会を開催することができなかった。しかし、アウトリーチや講演活動、他団体との連携を通じてスタッフそれぞれの感受性などを培ってきたと考えている。

引き続き、レッドリボンさっぽろとしての考え方を共通認識し、これからも同じ方向に向かって、活動していけるような体制を構築していきたい。

- ③ 活動の輪を広げるための会員数の拡大に向けて、アクセスしやすい環境を整備する。

（達成度：★★☆☆☆）

→これからも活動を円滑に進め、多角的な視点から活動を展開していくためにも、活動に参加できる会員を増やす目的で公式LINEの使用等、よりアクセスしやすい環境を整える必要があると考え、この目標を設定した。しかし、公式LINEアカウントの設定から進め

ず運用まで至らなかった。しかし、公式 LINE 運用を目指し、実際に公式 LINE を使用している団体に相談し情報収集をしていたことは評価している。

引き続き、会員拡大に向け、アクセスしやすい環境（会の運用規定なども含め）の整備が必要である（短期目標①にもつながる）。

以上のように、2024 年度の各目標の達成度を評価し、また中期目標を達成するために、2025 年度も継続していく必要があると考える。

そのため、2025 年度の目標を以下のように、検討した。2025 年度単年度で達成できることを念頭に置き、継続目標としたい。

以上の 2025 年度の短期目標 3 つを、事務局として提案したい。

【2025 年度 短期目標】

1. HIV/ エイズを取り巻くさまざまな環境や時代を鑑み、活動の内容・規定を精査していく。
(2024 年度から改定し継続)
2. スタッフが参加しやすい勉強会を実施し、「HIV/エイズに関する知識」だけでなく、「感じる力」「考える力」「伝える力」などのスキルアップを図る。
(2022 年度から改定し継続)
3. 活動の輪を広げるための会員数の拡大に向けて、アクセスしやすい環境を整備する。
(2023 年度から継続)